Kodak alaris

# Kodak S2000f/S3000 シリーズスキャナー

KODAK S2085f スキャナー
KODAK S3060 スキャナー
KODAK S3060f スキャナー
KODAK S3100 スキャナー
KODAK S3100f スキャナー
KODAK S3120 Max スキャナー
KODAK S3140 Max スキャナー

ユーザーズガイド



# 内容

内容 ..... i

**安全性について ..... v**
ユーザーへの注意事項 ..... v
警告ラベル ..... vi
騒音 ..... vi

**1 概要 ..... 1**
本ガイドのイラストについて ..... 1
参考資料 ..... 1
アクセサリ ..... 2
同梱品一覧 ..... 2
スキャナーのコンポーネント ..... 3
前面 ..... 3
内部 ..... 6
後部 ..... 7
オプションプリンタアクセサリ：プリンタアクセスカバー内部 ..... 8

**2 インストール / 最初のスキャン ..... 9**
インストール ..... 9
スキャナーを箱から出す ..... 9
スキャナーのセットアップ ..... 10
ネットワーク設定の実行 ..... 11
フェライトコアの取り付け ..... 12
ドライバソフトウェアのインストール ..... 13
スキャナーのファームウェアの確認 ..... 14
スキャナーのファームウェアの更新 ..... 15
ドライバソフトウェアがインストールされているコンピュータ ..... 15
Web ブラウザ ..... 16
利用可能な KODAK Alaris スキャンソフトウェア ..... 17
スマートタッチ ..... 17
KODAK Capture Pro LE ..... 17
省電力モードおよびスキャナーの電源オフ ..... 20

**3 スキャナーの調整 ..... 21**
入力トレイの調整 ..... 21
排紙トレイの調整 ..... 22
排紙口偏向板の取り付け ..... 24
フラットベッド
スキャン
（S2085f、S3060f、
S3100f スキャナーのみ）..... 26
背面排紙口の使用 ..... 28
スキャナータッチスクリーンの使用 ..... 29
ステータス領域 ..... 29
タッチスクリーンボタン ..... 29
設定画面 ..... 31
情報 ..... 31
メンテナンス ..... 31
ネットワーク ..... 32
診断 ..... 34

Easy Setup ....35
電源 ....36
言語 ....37
エレベーター ....37
フィード調整 ....37
印刷速度 ....38
共有 ....38
管理者アクセス ....39
リセット ....39
準備完了状態 ....40
ユーザーの準備状態 ....40
プロファイルの準備状態 ....40
スキャン実行中 ....41
ミスフィード検出コントロール ....41
スキャンの一時停止 ....42
排紙方法 ....42
エレベーターおよび搬送路の制御 ....43

**4 ドキュメントの印字 ....45**
KODAK プリンタアクセサリの使用 ....45
プリンタの仕様 ....46
インクカートリッジの取り付け / 交換 ....47
印字位置の変更 ....49
問題解決 ....50

**5 FADGI スキャンとホスト処理 ....51**
FADGI（連邦機関デジタルガイドラインイニシアチブ）スキャン ....51
ホスト処理 ....51
....52

**6 メンテナンス ....53**
章の概要 ....53
クリーニング用品 ....53
スキャナーカバーの開け方 ....54
清掃手順 ....55
排紙トレイ、給紙エレベーターおよび搬送部の清掃 ....55
ローラの清掃 ....55
セパレーションローラタイヤの清掃 ....56
フィードモジュールタイヤの清掃 ....57
バックグラウンドストリップの清掃 ....57
CIS イメージャの清掃 ....58
フラットベッドガラスの清掃 （S2085f/S3060f/S3100f スキャナーのみ）....58
トランスポートクリーニングシートによる清掃 ....59
清掃の最終手順 ....59
交換手順 ....60
フィードモジュール、フィードモジュールタイヤの交換手順 ....60
セパレーションローラの交換手順 ....62
セパレーションローラタイヤの交換手順 ....62
プリセパレーションパッドの交換手順 ....63
フラットベッドバックグラウンドの交換手順
（S2085f/S3060f/S3100f スキャナーのみ）....64
サプライと消耗品 ....64

**7 トラブルシューティング ..... 65**
問題を自身で解決する ..... 65
ソフトウェアのアップグレード ..... 65
サービスセンターへの問い合わせ ..... 65

**付録 A 規制に関する情報 ..... 67**
注記 ..... 67
環境に関する情報 ..... 67
ヨーロッパ連合（EU） ..... 67
EMC 声明 ..... 70

**付録 B 保証 - 米国、カナダ限定 ..... 79**

# 安全性について

## ユーザーへの注意事項

- スキャナーは 20.4 kg の重量に耐えられる安定した水平な場所に置き、スキャナーの周囲には十分なスペースを確保してください。
- スキャナーを移動する場合は、2 名でスキャナーを持ち上げて、安全な方法で運んでください。
- ほこりの多い場所や、湿気や蒸気のある場所にスキャナーを設置しないでください。感電または出火の危険があります。スキャナーは必ず室内の湿気のない場所で使用してください。
- 電源コンセントがスキャナーから 1.52m（5 フィート）以内にあり、簡単に接続できることを確認してください。
- 機器の電源ソケットを外すときは、コードではなくプラグを持ってください。
- 電源コードがコンセントにしっかり接続されていることを確認してください。しっかり接続されていないと、感電または出火の危険があります。
- 電源コードを破損しないよう注意してください（結ぶ、切る、改造するなどの行為を含む）。また、破損した電源コードは使用しないでください。感電または出火の危険があります。
- スキャナーは壁のコンセントに直接接続し、適切に接地してください。スキャナーに延長ケーブルを使用しないでください。
- 電源コンセントの周辺には十分なスペースを設け、緊急時にすぐにプラグを外せるようにしてください。
- 『ユーザーズガイド』に記載された場合を除き、スキャナーを解体、修理または改造しないでください。
- 電源コードとインタフェースケーブルを接続したままでスキャナーを移動しないでください。電源コードとインタフェースケーブルが破損する場合があります。スキャナーを移動する前に、電源コードをコンセントから抜いてください。
- Kodak Alaris が推奨するクリーニング手順に従ってください。エアー、液体、ガススプレークリーナを使用しないでください。これらのクリーナは、ほこり、汚れ、ゴミをスキャナー内の別の場所に移動させ、スキャナーの故障の原因となる可能性があります。
- 化学製品の安全データシート（SDS）は、次の Kodak Alaris のウェブサイトで入手できます：
  AlarisWorld.com/go/ehs ウェブサイトから SDS にアクセスする場合、消耗品のカタログ番号を提示する必要があります。消耗品とカタログ番号については、このガイドの「アクセサリと消耗品」を参照してください。
- このデバイスは、ビジュアルディスプレイのある作業環境において、直接的な視界内での使用を対象としていません。ビジュアルディスプレイのある作業環境において妨げとなる反射を避けるため、このデバイスを直接的な視界内に置かないでください。
- この機器は、お子様のいる場所で使用するには適していません。

ユーザーやその管理者は、機械を操作するにあたり、常識的な注意を払う必要があります。注意事項として以下のものがあります（ただし、これに限りません）。

- 過度にゆったりした服装を避け、袖口のボタンは外さないようにしてください。
- 外れやすいアクセサリ、ブレスレット、大きな指輪、長いネックレスなどは身に付けないようにしてください。
- 髪の毛は、必要に応じてヘアネットを使用するか、長い髪は束ねるなどして、短くまとめます。
- 機械の周辺にある、引き込まれそうな物はすべて取り除きます。
- 時折十分な休憩を取って、集中力を保つようにします。
- 推奨するクリーニング用品以外は使用しないでください。
- スプレーや圧縮空気は使用しないでください。

業務監督者は、スキャナーまたはその他の機械の操作に関するルールに、上記のような予防措置を含めるようお願いします。

## 電池に関する情報

本製品にはリチウムボタン電池が使用されています。資格を持ったサービス担当の技術者のみが、この電池の取り外しや交換を行うことができます。

**注意：**

- 電池の種類を間違えて交換すると、破裂する危険性があります。
- 使用済み電池は指示どおりに廃棄してください。

## 警告ラベル



**注意：可動部品。触らないでください。**

## 騒音

Maschinenlärminformationsverordnung – 3, GSGV
Der arbeitsplatzbezogene Emissionswert beträgt <70 dB(A).

[ 騒音規制 ー 3、GSGV
操作者位置の騒音は 70 dB（A）未満。]

# 1 概要

*Kodak* S2000f/S3000 シリーズスキャナーは、デスクトップ両面カラースキャナーです。以下のモデルがあります。

- *Kodak* S2085f スキャナーは縦向き 300dpi（ドット / インチ）で白黒 A4 サイズの原稿を 1 分間で最大 85 ページスキャンできます。S2085f スキャナーには、最大 A4 (21 x 29.7 cm) または 8 ½ x 11 インチ (21.6 cm x 27.94 cm) の特別な処理を必要とする原稿をスキャン可能なフラットベッドも搭載されています。
- *Kodak* S3060 スキャナーは横向き 300dpi（ドット / インチ）で白黒レターサイズの原稿を 1 分間で最大 60 ページスキャンできます。
- *Kodak* S3060f スキャナーは横向き 300dpi（ドット / インチ）で白黒レターサイズの原稿を 1 分間で最大 60 ページスキャンできます。S3060f スキャナーには、最大 A4 (21 x 29.7 cm) または 8 ½ x 11 インチ (21.6 cm x 27.94 cm) の特別な処理を必要とする原稿をスキャン可能なフラットベッドも搭載されています。
- *Kodak* S3100 スキャナーは横向き 300dpi（ドット / インチ）で白黒レターサイズの原稿を 1 分間で最大 100 ページスキャンできます。
- *Kodak* S3100f スキャナーは横向き 300dpi（ドット / インチ）で白黒レターサイズの原稿を 1 分間で最大 100 ページスキャンできます。S3100f スキャナーには、最大 A4 (21 x 29.7 cm) または 8 ½ x 11 インチ (21.6 cm x 27.94 cm) の特別な処理を必要とする原稿をスキャン可能なフラットベッドも搭載されています。
- *Kodak* S3120 Max スキャナーは横向き 300dpi（ドット / インチ）で白黒レターサイズの原稿を 1 分間で最大 120 ページスキャンできます。
- *Kodak* S3140 Max スキャナーは横向き 300dpi（ドット / インチ）で白黒レターサイズの原稿を 1 分間で最大 140 ページスキャンできます。

## 本ガイドのイラストについて

この『ユーザーズガイド』には、*Kodak* S2000f/S3000 シリーズスキャナーの使用と保守の手順について記載されています。このシリーズには複数のモデルがあります。お使いのモデルがイラストのものと少し異なって見える場合があります。特に指定がない限り、本ガイドに記載されている情報は S2000f/S3000 の全スキャナーモデルに適用されます。

## 参考資料

この『ユーザーズガイド』以外に、次の資料が用意されています。

- **インストールガイド** — スキャナーの設置を手順ごとに説明します。
- **リファレンスガイド** — スキャナーを清掃する手順を図解で示します。このガイドはスキャナーのそばに置いて、いつでも参照できるようにしてください。

**Web サイト**：AlarisWorld.com/go/IM

## アクセサリ

***Kodak* プリンタのアクセサリ（S2000f/S3000 シリーズスキャナー用）**— プリンタのアクセサリは、スキャンしたドキュメントの裏面に情報を適用する効果的な方法を提供します。プリンタは、スキャナーの最高速度で印字可能です。印字内容として、日付、時刻、原稿カウンタ値、固定文字列を使用できます。印字機能はすべて TWAIN データソースまたは ISIS ドライバから設定できます。（CAT No.1324391 - プリンタアクセサリ i2900/S2000f/i3000/S3000）

***Kodak* A3 フラットベッドアクセサリ** — *Kodak* A3 フラットベッドは、お使いの *Kodak* S2085f/S3060/S3060f/S3100/S3100f/S3120 Max/S3140 Max スキャナーに対して、最大 A3 (29.7 x 42 cm) または 11 x 17 インチ (27.94 x 43.2 cm) の例外的なサイズの原稿についてのスキャン機能を追加します。（カタログ番号 1894351）

**延長トレイ** — 17 インチ (43.2 cm) 以上、最大 36 インチ (91.44 cm) の長さの原稿をスキャンできます。（CAT No. 保留 )

**背面排紙トレイのアクセサリ** — スキャナーの背面全体に存在する原稿をキャッチします。（カタログ番号 1703594）

## 同梱品一覧

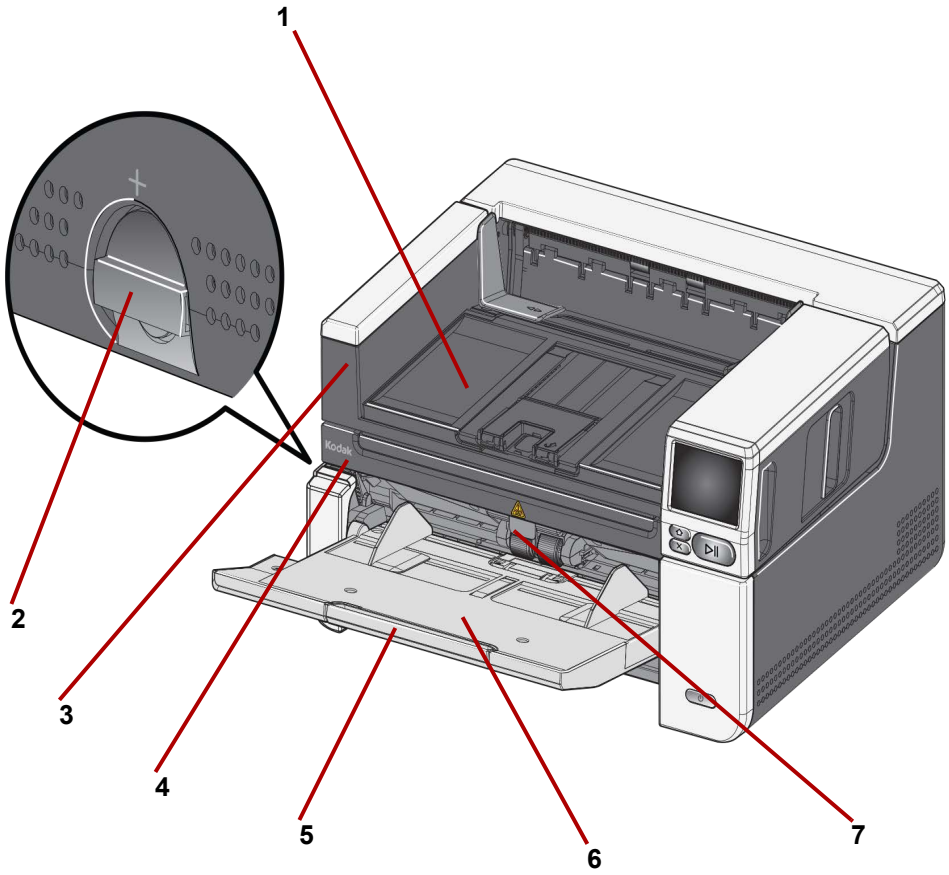
梱包品内容の確認

- *Kodak* S2085f、S3060、S3060f、S3100、S3100f、S3120 Max、または S3140 Max スキャナー
- USB 3.0 ケーブル
- AC 電源コードの束（60W 電源）
- 同梱品：
  - インストール CD
  - 印刷版リファレンスガイド
  - インストールガイド
  - クリーニングキットのサンプル
  - その他のパンフレット

# スキャナーのコンポーネント

## 前面

以下は *Kodak* S3060f スキャナーの図です。*Kodak* S2085f、S3060f および S3100f は、フラットベッドモデルです。他の *Kodak* S2000f/S3000 シリーズのスキャナーを所有の場合、フラットベッドはありません。別段の記載のない限り、すべてのコンポーネントはすべてのスキャナーモデル上にあります。




1 **排紙トレイ** — スキャン済みの原稿を収納します。

2 **ギャップリリース** — ダイヤルを垂直に回して、特別な処理を必要とする原稿に、フィードモジュールとセパレーションローラ間のスペースを空けます。

3 **ここをつかんでフラットベッドを開く** *（Kodak S2085f、S3060f、および S3100f スキャナーのみ）*— 特別な処理を必要とする原稿、書籍、雑誌、ファイルフォルダ等をスキャンできるフラットベッドへのアクセスができるようにします。

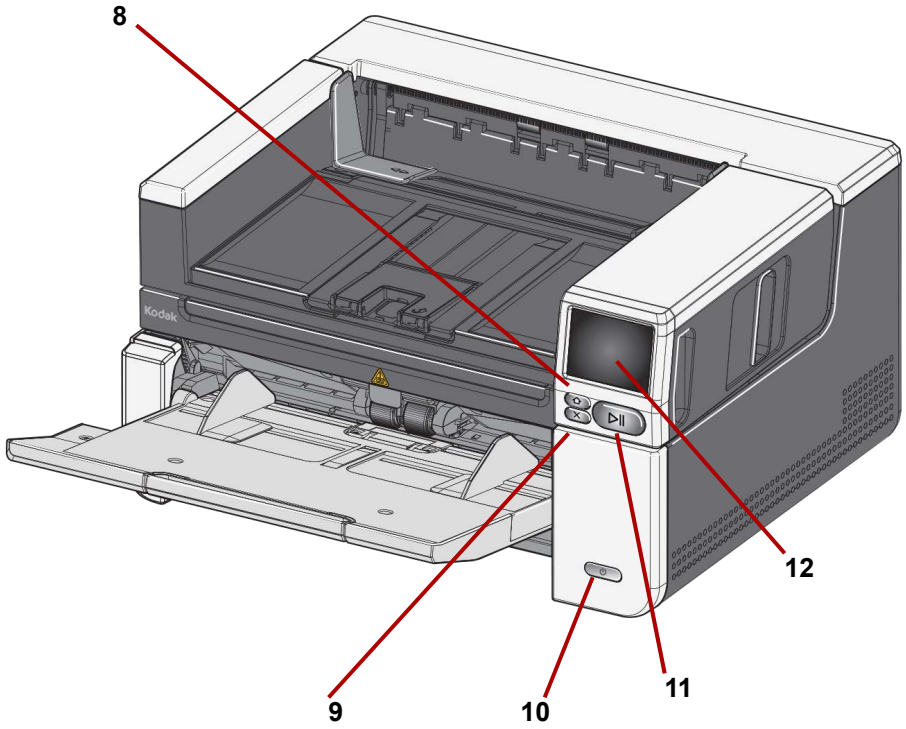
4 **フラットベッド** — *Kodak S2085f、S3060f、および S3100f スキャナーのみ)*— 最大 A4 (21 x 29.7 cm) または 8 ½ x 11 インチ (21.6 cm x 27.94 cm) の例外的なサイズの原稿がスキャン可能な搭載されたフラットベッド。

5 **給紙トレイエクステンション** — このエクステンションを引き出すと、11 インチ（27.94 cm）以上、最大 17 インチ（43.2 cm）の長さの原稿をセットできます。

6 **給紙トレイ（エレベーター）**— スキャン用に最大 300 枚（20 ポンド / 80 g/m$^2$）、S3120 Max および S3140 Max モデルの場合は最大 500 枚の用紙を収納できます。原稿がロードされスキャンの準備が完了したら、エレベーターは正しい給紙の高さに調整されます。スキャンが完了したら、エレベーターは最も低い位置に戻ります。給紙トレイは、使用していないときは折りたたむことができます。

7 **フィーダ調整タブ** — このタブを引き出して、給紙が困難な原稿のフィードローラーを加圧します。

.



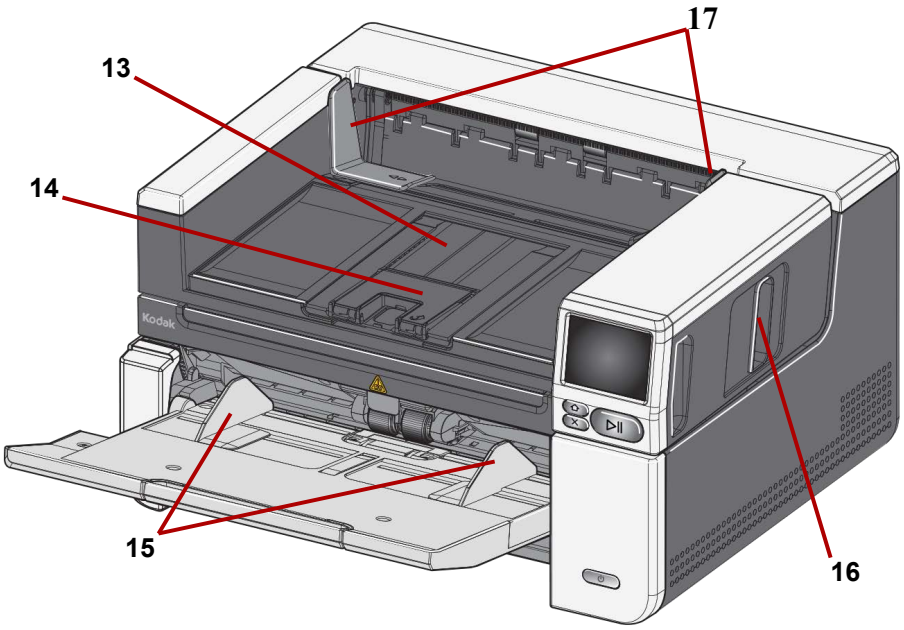

8 **ホームボタン** — 押すことでスキャナーのホーム画面に戻ります。Alaris スキャンアプリケーションの場合は、スキャンセットアップのリストが表示されます。PC でスキャンを開始する必要があるアプリケーションの場合は、[ レディ ] 画面が表示されます。

9 **X ボタン** — 押すことでスキャンジョブを一時停止または終了、いくつかのイベント通知をクリア、またはいくつかの画面を閉じます。

10 **電源ボタン** — 電源ボタンを押してから離すことで、スキャナーの電源がオンになります。スキャナーの電源がすでにオンになっている場合、電源ボタンを数秒間押したままにすると、スキャナーの電源がオフになります。

11 **一時停止 / 再開ボタン** — スキャンが進行中の場合、押すとスキャンが一時停止します。スキャナーが一時停止された場合、押すとスキャンが再開します。

12 **スキャナー表示画面** — スキャナー情報および制御部のカラーのグラフィック表示の付いたタッチスクリーンです。スキャナーでのスキャンを開始できる Kodak Alaris スキャンアプリケーションにアクセスできます。




13 **排紙トレイエクステンション** — 開いて最大 17 インチ / 43.2 cm の原稿を収納できます。

14 **原稿ストッパー** — 原稿の収納を改善するために原稿ストッパーを持ち上げます。

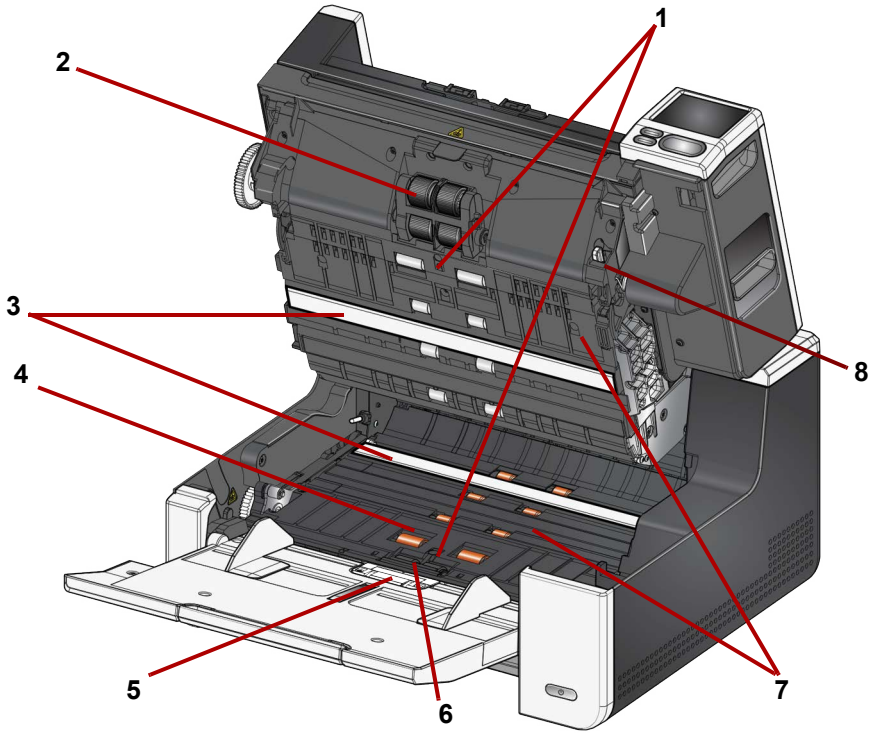
15 **給紙トレイ（エレベーター）サイドガイド** — これらのガイドをスライドさせ、スキャンする原稿の幅に合わせて調節します。

16 **スキャナーカバーリリースラッチ** — リリースラッチを引いてスキャナーカバーを開きます。

17 **排紙トレイサイドガイド** — これらのガイドを内外にスライドさせ、スキャンしたサイズの原稿を収納します。

## 内部

スキャナーカバーのリリースラッチを手前に引くと、以下のコンポーネントが確認できます。




1 **超音波センサ** — 重送および原稿の損傷を検出するために使用されます。Kodak Alaris インテリジェントドキュメントプロテクション機能で原稿の損傷を防ぎます。この機能の詳細については、『スキャンセットアップガイド』を参照してください。

2 **フィードモジュール** — さまざまなサイズ、厚さ、素材の原稿をスムーズに給紙します。

3 **CIS イメージャ（2）** — イメージ品質を最適に保つために、イメージャを定期的にクリーニングしてください。

4 **フロントトランスポートローラ / ローラ** — スキャナー内で原稿をスムーズに搬送する役割を果たします。

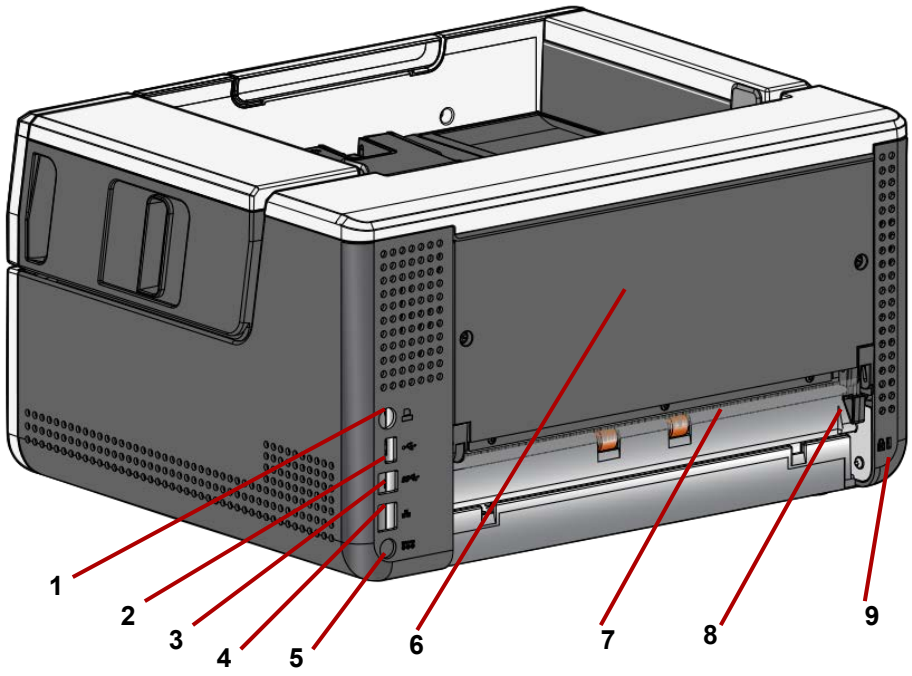
5 **用紙センサ** — 給紙トレイにセットされた原稿を検出します。

6 **セパレーションモジュールとプリセパレーションパッド** — さまざまなサイズ、厚さ、素材の原稿をスムーズに給紙します。

7 **搬送路** — 原稿が CIS イメージャから排紙トレイに搬送される経路。

8 **フィードモジュールリリースレバー** — フィードモジュールまたはフィードモジュールタイヤを交換する場合、このレバーを押してフィードモジュールをその位置から開放します。

## 後部




1 **プリンタポート** — *Kodak* プリンタアクセサリからスキャナーへの接続を可能にします。

2 **USB ポート、タイプ A** — スキャナーをアクセサリフラットベッドに接続します。

3 **USB ポート、タイプ B** — スキャナーを PC に接続します。

4 **イーサネットポート** — スキャナーをネットワークに接続します。

5 **電源ポート** — アダプタの電源コードをスキャナーに接続します。

6 **背面パネル** — *Kodak* プリンタアクセサリを取り付けることができるよう取り外し可能です。

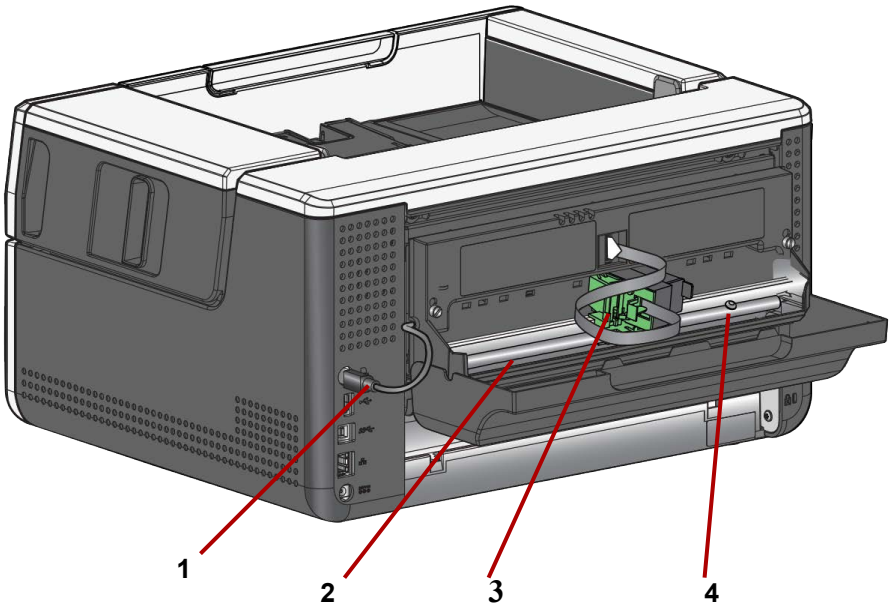
7 **背面排紙口** — 特別な処理を必要とする原稿をスキャナーの背面から排紙します。

8 **背面排紙切り替えスイッチ** — このスイッチを切り替えると、スキャナーの搬送路がストレートパスになり、背面排紙口から原稿が排紙されます。背面排紙口を閉じるには、切り替えスイッチがカチッと音がして所定の位置に収まるまで押し続けます。

9 **セキュリティロックポート** — セキュリティロックをスキャナーに接続します。標準的なセキュリティロックは、事務用品店などでご購入ください。取り付け手順は、セキュリティロックに付属の手順書を参照してください。

## オプションプリンタアクセサリ：プリンタアクセスカバー内部

下図は、プリンタの稼動中のコンポーネントを表示しています。取り付けの説明については、お使いの *Kodak* プリンタアクセサリに同梱の取扱説明書を参照してください。




1 **プリンタケーブル** — このケーブルはスキャナーに直接接続され、プリンタとの通信が可能になります。

2 **印字位置** — 11 ヶ所の印字位置が用意されています。

3 **プリンタキャリア / カートリッジ** — スキャンした原稿の背面印刷に使用します。

4 **印字位置のねじ** — 11 個の印字位置を使用する場合は、このねじを取り外します。ねじをそのままにしておくと、9 つの印字位置しか使用できなくなります。

# 2 インストール / 最初のスキャン

## インストール

以下は、スキャナーをセットアップし
コンピュータに接続するために実行する必要のある手順のリストです。

1. スキャナーを箱から出します。
2. 最初にスキャナーをセットアップします。
3. ドライバソフトウェアをインストールします。
4. スキャナーのファームウェアを確認します。
5. オプションで、スキャナーのファームウェアを更新します。
6. オプションで、利用可能な Alaris スキャンソフトウェアをインストールします。

注記：

- 更新のインストール中に、ドライバソフトウェアを更新してからスキャナーのファームウェアを更新します。
- 『*インストールガイド*』のすべての手順を実行済みの場合、このセクションを省略してください。

### スキャナーを箱から出す

以下の手順に従ってスキャナーを箱から出し、セットアップの準備を整えます。

1. スキャナーの箱を開きます。
2. スキャナーの箱から中身をすべて取り出します。
3. スキャナーから配送用のテープと梱包材をすべて取り除きます。
4. 『*インストールガイド*』を見つけて開きます。
5. スキャナーの箱の中身を確認します。（『*インストールガイド*』の左のパネルを参照してください。）

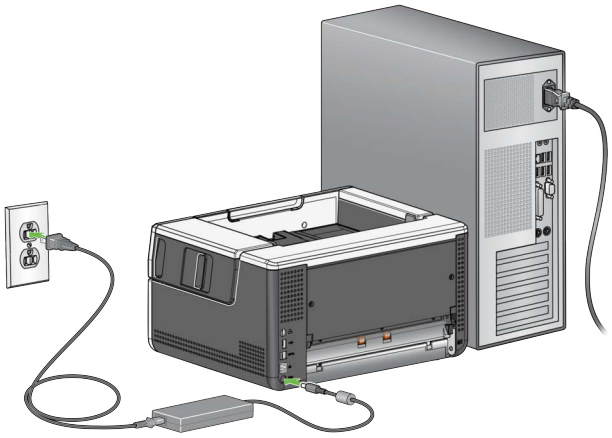
注記： 背面排紙口や *Kodak* プリンタアクセサリを使用する場合、スキャナーを設置時に、スキャナーの後部に十分な空間を確保するよう注意してください。

## スキャナーのセットアップ

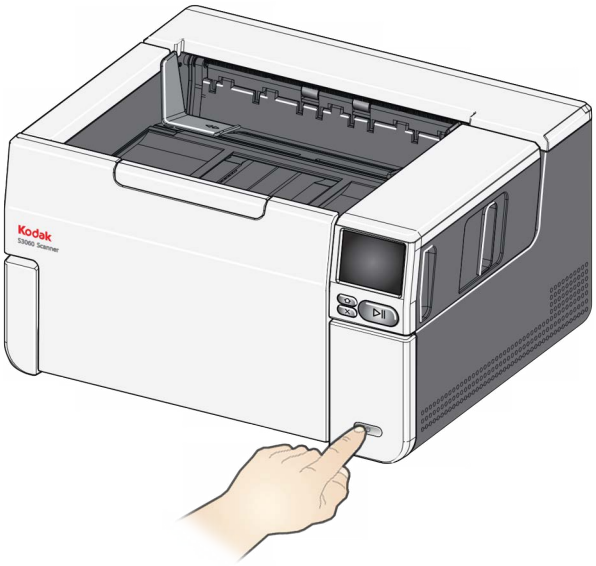
『*インストールガイド*』の以下の手順に従います。

1. 正しい AC プラグアダプタを電源に取り付けます。電源をスキャナーに取り付けてから電源コンセントに差し込みます。

注記： お使いのスキャナーが S3120 Max または S3140 Max の場合は、ステップ 2 に進む前に、手動で入力トレイを開いてください。



2. スキャナーの前面にある [ 電源 ] ボタンを押してスキャナーの電源を入れます。スキャナーの電源をオンにすると、給紙トレイがまだ開いていなければ開き、電源ボタンが数秒間点滅します。




3. スキャナーが事前に設定されていない場合は、言語画面が表示されます。言語画面が表示されたら、言語を選択します。
4. スキャナーが事前に設定されている場合は、スキャナーをリセットできるためこのセットアップを再開します。

- スキャナーのディスプレイの  を押して [ 設定 ] メニューを開きます。
- [ リセット ] までスクロールダウンして押します。
- 表示される指示に従ってください。

注記： [設定] メニューを使用して個々のネットワーク設定や電源設定の変更もできます。

- スキャナーのディスプレイセットアップ画面を検索するには、選択して右矢印  を押し、次の画面 / 手順に進みます。
- 前の画面 / 手順に戻るには、左矢印  を押します。

## ネットワーク設定の実行

2 つのセットアップ経路があります。

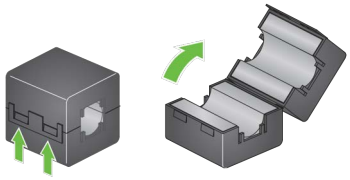
- **セットアップウィザード** - スキャナーのタッチスクリーンを使用して、スキャナーを共通の 2 つの設定のいずれかにセットアップできます。小規模の企業またはグループに適しています。選択肢は次の通りです。
  - 有線ネットワーク（USB も使用可）
  - USB のみ（有線ネットワークアクセスがオフになっている）
- **EasySetup ドキュメントのスキャン** - 事前に作成された EasySetup 設定ドキュメントをスキャンできます。大規模なインストールに適しており、企業または複数サイト全体での一貫した使用のため、システム管理者がパラメータをセットアップできます。
  - EasySetup 設定ドキュメントを作成するには、easysetup.kodakalaris.com にアクセスして、指示に従ってください。使用するため PDF を印刷することも、PDF をユーザーにメール送信することもできます。

注記： スキャナーの ✖ ボタンを押すと、ネットワークのセットアッププロセスをキャンセルできます。キャンセルすると、スキャナーは次の通りデフォルトのネットワーク設定を使用します。自動（DHCP）モードでは有線ネットワークがオン / 有効になり、USB が使用可能になります。

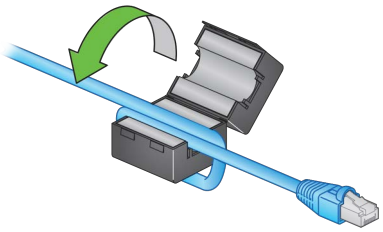
## フェライトコアの取り付け

イーサネットケーブルを使用している場合、付属のフェライトコアを取り付けます。フェライトコアを適切に取り付けていないと、スキャナーが近くの無線デバイスを妨害する可能性があります。

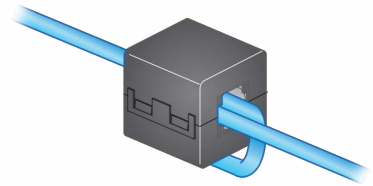
1. スキャナーに付属のフェライトコアを開きます。



2. 図に示すようにフェライトコアにイーサネットケーブルを巻き付けます。スキャナーに差し込むイーサネットケーブルの端から約 7.6 cm のところにセットします。



3. フェライトコアを閉じます。イーサネットケーブルを挟まないように注意してください。



## ドライバソフトウェアのインストール

付属のディスクのドライバソフトウェアがスキャナーで動作する間、最新のソフトウェアを使用できるようにするには、スキャナーの製品サポート Web サイトからダウンロードしてください。

PC がインターネットにアクセスしていない、または実行ファイルをダウンロードできない場合は、スキャナーの箱のディスクのみ使用してください。

注記：ディスクには Windows OS 用のドライバソフトウェアのみ含まれています。スキャナーの製品サポート Web サイト（下記）にアクセスして、他の OS 用のドライバを取得する必要があります。

注記： RESTful Web API を使用してビジネスアプリまたはアプリケーションをスキャナーに統合する場合、ドライバは不要です。

1. コンピュータがインターネットにアクセスしている場合は、スキャナーの製品 Web サイトからドライバソフトウェアを取得してください。

   - スキャナーの製品サポート Web サイトにアクセス：

     **S2085f:**
     AlarisWorld.com/go/S2085fsupport

     **S3060:**
     AlarisWorld.com/go/S3060support

     **S3060f:**
     AlarisWorld.com/en-gb/go/S3060fsupport

     **S3100:**
     AlarisWorld.com/go/S3100support

     **S3100f:**
     AlarisWorld.com/go/S3100fsupport

     **S3120 Max:**
     AlarisWorld.com/go/S3120-maxsupport

     **S3140 Max:**
     AlarisWorld.com/go/S3140-maxsupport

   - コンピュータの OS に一致するドライバセクションまでスクロールします。

   - ダウンロードするファイルを選択します。Windows の場合は、「Windows – EXE」です。Linux の場合は、お使いのディストリビューションに適したパッケージを選びます。

   - ドライバソフトウェアのインストーラを実行します。

2. スキャナーの製品 Web サイトからダウンロードできない場合、およびお使いのコンピュータが Windows OS を実行している場合：

   - スキャナーの箱に入っているディスクをコンピュータのディスクドライブに入れます。

   - コンピュータが自動的にインストーラを開始しない場合は、ディスクをブラウズして set_up.exe を実行します。

3. 「*Kodak* S2000f/S3000 スキャナー」ドライバソフトウェアのインストール手順に従います。コンピュータが適切にスキャナーに接続されスキャナーが機能していることを確認するため、「標準」のインストールに必ず従ってください。

## スキャナーのファームウェアの確認

スキャナーのファームウェアが更新する必要があるかどうかを確認するには以下の手順に従います。

1. スキャナーで以下を行い、スキャナーのファームウェアのバージョンを確認します。
   - スキャナーの電源が入っていて [レディ] 画面であることを確認します。
   -  ボタンを押して [ 設定 ] 画面を表示します。
   - *[ 情報 ]* メニューアイテムを押します。
   - スキャナーの現在のファームウェアバージョン番号が分かるまでスクロールダウンします。番号は「ファームウェア：」の後に表示されています。番号は 6 桁です。
   -  ボタンを押して [*情報*] メニューを終了し [設定] 画面に戻ります。
2. スキャナーの製品 Web サイトにあるファームウェアのバージョンを確認します。

   - スキャナーの製品サポート Web サイトにアクセス：

     **S2085f:**
     AlarisWorld.com/go/S2085fsupport
     **S3060:**
     AlarisWorld.com/go/S3060support
     **S3060f:**
     AlarisWorld.com/en-gb/go/S3060fsupport
     **S3100:**
     AlarisWorld.com/go/S3100support
     **S3100f:**
     AlarisWorld.com/go/S3100fsupport
     **S3120 Max:**
     AlarisWorld.com/go/S3120-maxsupport
     **S3140 Max:**
     AlarisWorld.com/go/S3140-maxsupport

   - スキャナーのモデル名に一致するファームウェアセクションまでスクロールします。

   - バージョンが表示されない場合は、「リリースノート」リンクをクリックします。
3. Web サイトのファームウェアバージョン番号がスキャナーのファームウェアバージョンより大きい場合は、ファームウェアバージョンを更新する必要があります。

## スキャナーのファームウェアの更新

次の方法のいずれかを使用して、スキャナーのファームウェアを更新します。

- ドライバソフトウェアがインストールされているコンピュータ - コンピュータにすでにドライバソフトウェアがインストールされていて、コンピュータがスキャナーに接続されスキャナーにアクセスできる場合に、このオプションを使用します。
- Web ブラウザ - 少なくとも 1 つのネットワーク接続がオン / 有効になっているスキャナーをお持ちで、スキャナーと同じネットワーク上にあるコンピュータをお持ちの場合。

### ドライバソフトウェアがインストールされているコンピュータ

以下の手順に従って、すでにドライバソフトウェアがインストールされているコンピュータからスキャナーのファームウェアを更新します。

スキャナーをコンピュータに接続し利用可能にする必要があります。コンピュータからスキャンできる場合は、スキャナーのファームウェアの更新に使用できます。

1. スキャナーの製品サポート Web サイトにアクセス：

   **S2085f:**
   AlarisWorld.com/go/S2085fsupport

   **S3060:**
   AlarisWorld.com/go/S3060support
   **S3060f:**
   AlarisWorld.com/en-gb/go/S3060fsupport
   **S3100:**
   AlarisWorld.com/go/S3100support
   **S3100f:**
   AlarisWorld.com/go/S3100fsupport
   **S3120 Max:**
   AlarisWorld.com/go/S3120-maxsupport
   **S3140 Max:**
   AlarisWorld.com/go/S3140-maxsupport

2. スキャナーのモデル名に一致するファームウェアセクションまでスクロールします。
3. コンピュータの OS に一致するファームウェアインストーラをダウンロードします。
4. スキャナーの電源が入っていて、コンピュータに接続され使用可能であり、エラーが表示されていないことを確認します。
5. ファームウェアインストーラを実行します。
6. ファームウェアインストーラの手順に従います。

## Web ブラウザ

以下の手順に従って、スキャナーの内部 Web ページからスキャナーのファームウェアを更新します。スキャナーと同じネットワーク上にあるコンピュータの Web ブラウザを使用してこれを行います。

注記：ネットワークはデフォルトでオン / 有効になっています。

1. スキャナーの製品サポート Web サイトにアクセス：

   **S2085f:**
   AlarisWorld.com/go/S2085fsupport

   **S3060:**
   AlarisWorld.com/go/S3060support
   **S3060f:**
   AlarisWorld.com/en-gb/go/S3060fsupport
   **S3100:**
   AlarisWorld.com/go/S3100support
   **S3100f:**
   AlarisWorld.com/go/S3100fsupport
   **S3120 Max:**
   AlarisWorld.com/go/S3120-maxsupport

   **S3140 Max:**
   AlarisWorld.com/go/S3140-maxsupport

2. スキャナーのモデル名に一致するファームウェアセクションまでスクロールします。
3. 「Web ブラウザ（.sig）」ファイルを選択してダウンロードします。
4. スキャナーの電源が入っていて、ネットワークで使用可能であり、エラーが表示されていないことを確認します。
5. スキャナーのネットワーク IP アドレスを取得します。

   - IP アドレスまでスクロールダウンします。（IP アドレスをメモします。これは次の手順で必要になります。）

   -  ボタンを押して [ 情報 ] メニューを終了します。
6. コンピュータで Web ブラウザを開き、Web ブラウザ内で以下を行います。

   - スキャナーのネットワーク IP アドレスを入力して、スキャナーの内部 Web ページにアクセスします。

   - [ サポート ] タブをクリックします。

   - 左下隅にある [スキャナーファームウェアの更新] ボタンをクリックします。

   - [ 参照 ] ボタンをクリックします。

   - *.sig ファイルをダウンロードしたコンピュータのフォルダに移動します。

   - *.sig を選択します。

   - [ ファームウェアの更新開始 ] ボタンをクリックします。

   - ファームウェアの更新が完了するまで待ちます。数分かかる場合があります。

## 利用可能な *KODAK* Alaris スキャンソフトウェア

使いやすい *KODAK* Alaris スキャンアプリケーションは、お使いのスキャナーで作業できるようにカスタマイズされています（以下の説明を参照）。スキャナーの製品サポート Web サイトからダウンロードできます。

**S2085f:** AlarisWorld.com/go/S2085fsupport
**S3060:** AlarisWorld.com/go/S3060support
**S3060f:** AlarisWorld.com/en-gb/go/S3060fsupport
**S3100:** AlarisWorld.com/go/S3100support
**S3100f:** AlarisWorld.com/go/S3100fsupport
**S3120 Max:** AlarisWorld.com/go/S3120-max-scanner
**S3140 Max:** AlarisWorld.com/go/S3140-max-scanner

スキャンアプリケーションについての詳細は、以下を参照してください。

AlarisWorld.com/go/scanningsoftware

**スマートタッチ**

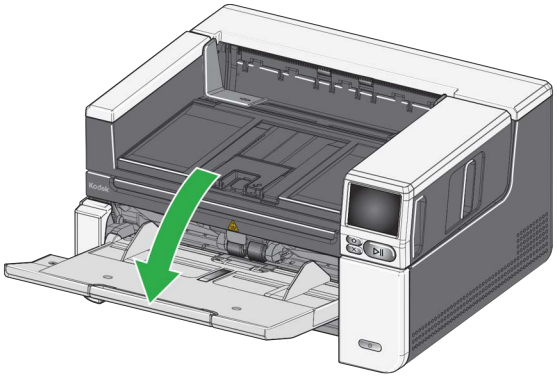
使いやすいアプリケーションで、原稿をスキャンし、デジタル化されたドキュメントを検索して表示できます。

***KODAK* Capture Pro LE**

大きな、解像度の高い、または圧縮されていない原稿を素早くスキャンし、重要なデータをキャプチャおよび編集し、リポジトリまたは他のアプリケーションにバッチ出力できるアプリケーションです。

### スキャナーの準備

1. スキャナーの電源がオンになっていてスキャンの準備が整っていることを確認します（電源ボタンの周辺が数回点滅してから点灯した状態になります）。
2. スキャナーを使用していない時は、給紙トレイを折りたたむことができます。スキャンする場合は給紙トレイが下がっていることを確認します。

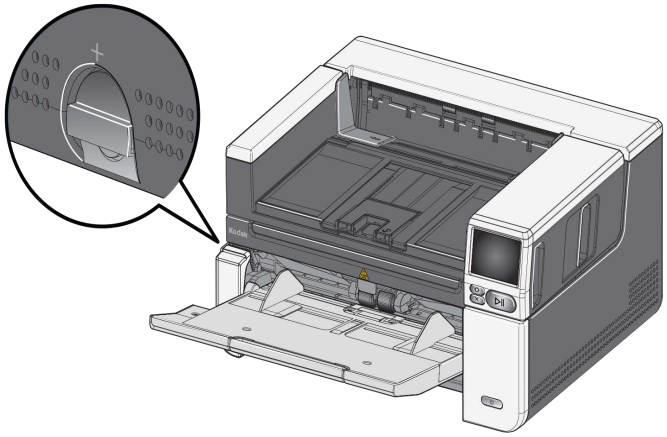


3. スキャン要件に合わせて、給紙トレイのサイドガイドを調整します。（21 ページの「原稿の長さに合わせて給紙トレイを調整」を参照してください。）
4. 使用するスキャンアプリケーションを選択します。スキャナーには、スマートタッチ機能と Capture Pro LE が付属しています。詳細については、17 ページの「利用可能な KODAK Alaris スキャンソフトウェア」を参照してください。

### 原稿の準備

- 標準用紙サイズの原稿は、簡単に給紙できます。スキャンする原稿は、先端を揃え、給紙トレイの中央にセットします。これにより、原稿は 1 枚ずつスキャナーに給紙されます。
- ホチキスやクリップは、スキャン前にすべて取り除いてください。原稿がホチキスやクリップで留められていると、スキャナーや原稿が破損する場合があります。
- スキャン前に、原稿上のすべてのインクや修正液が乾いていることを確認してください。
- 破れたりしわになっているページがある原稿でも、このスキャナーでは問題なくスキャンすることができます。ただし、原稿の破損状態によっては例外もあります。破損した原稿がスキャナーに取り込まれるか判断できない場合は、フラットベッドを使用するか、原稿を透明な保護用クリアシート等に入れて背面排紙口を使用してください。ギャップリリースまたは背面排紙口を使用する場合は、シートを一度に 1 枚ずつ手動で、端が閉じている方から給紙してください。（詳細については、3 ページの「2 ギャップリリース」および 7 ページの「7 背面排紙口」を参照してください。）

- 長いドキュメントは、ギャップリリースをオンにした状態で手動でスキャナーに給紙する必要があります。長いドキュメントとは、46 cm（18 インチ）より長いドキュメントを指します



**スキャンアプリケーションでの最初のスキャン**

スキャンアプリケーションは、スキャナーを購入するとダウンロードでき、次のような一般的なスキャンタスクを迅速かつ容易に実行できます。

- 印刷済みレポートからサーチャブル PDF を作成する
- 請求書をスキャンして、他の請求書とともに保存する
- 写真をスキャンしてプレゼンテーションに追加する

スキャンアプリケーションがインストールされている場合は、次の手順でドキュメントの出力ファイルを作成できます。Alaris スキャンアプリケーションで可能なスキャンオプションに関する詳細については、特定のアプリケーションのマニュアルを参照してください。

1. スキャナーの給紙トレイに原稿をセットします（表紙を上に向け、リードエッジから給紙できるようにセットします）。
2. スキャナー表示画面のスクロールバーを使用して、カラー PDF が表示されるまで上下にスクロールします。（Capture Pro をお使いの場合は、*[PDF にスキャン]* を選択します。）
3. タッチスクリーンを使用して、*[ カラー PDF]* を押します。原稿がスキャンされます。スキャンイメージを使用して出力された PDF ファイルは、フォルダに送信されます。フォルダの場所の詳細は、お使いのスキャンアプリケーションのマニュアルを参照してください。

## 省電力モードおよびスキャナーの電源オフ

**省電力モード**：デフォルトでは、45 分間何も操作されないと、スキャナーは自動的に省電力モードになります。

**スキャナーの電源オフ**：**[ 電源 ]** ボタンを 1 秒以上押します。デフォルトでは、スキャナーが 45 分以上省電力モードになった場合、スキャナーの電源がオフになります。スキャナーの電源を再びオンにするには、[ 電源 ] ボタンを押します。

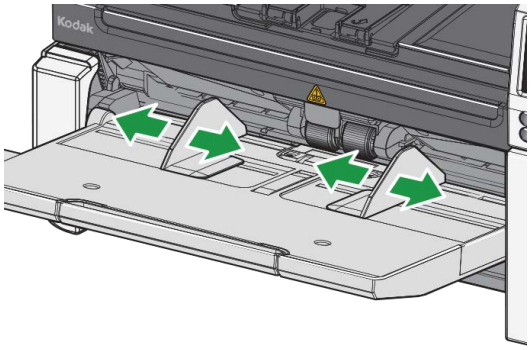
注記：電源調整の方法についての説明は、36 ページの「電源」を参照してください。

# 3 スキャナーの調整

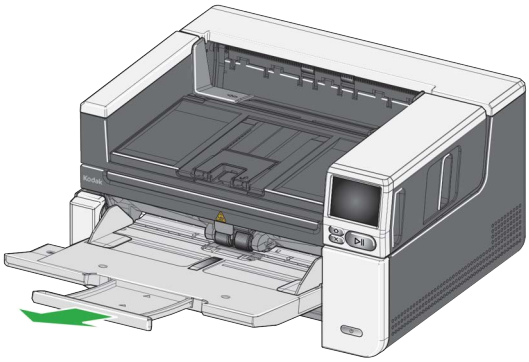
## 入力トレイの調整

スキャンの必要に応じ、給紙トレイを調整することができます。

- **サイドガイドの調整** — サイドガイドは原稿のサイズに対応するために内外へ移動させることができます。サイドガイドを調整する場合、トレイのスロット上のサイドガイドの下部に手を置き、ガイドを内外にスライドさせます。




- 原稿の長さに合わせて給紙トレイを調整 — 給紙トレイのエクステンションには 2 つの位置があります。横向きモードでレターサイズまたは A4 原稿をスキャンする場合、給紙トレイエクステンションを引き出す必要はありません。
  - **最大 11 インチ /27.94 cm の原稿の長さ** — エクステンションを最初の位置に引き出します。
  - **長さ 11 ～ 17 インチ /27.94 ～ 43.2 cm の原稿** — エクステンションを完全な位置まで引き出します。



- **長さ 17 インチ /43.2 cm 以上の原稿** — 17 インチ /43.2 cm を超える長さの原稿をスキャンする場合、スキャナードライバはその長さに対応するよう設定する**必要があります**。[ デバイス ー 一般 ] タブ（TWAIN データソース）の [ **最大原稿サイズ** ] オプションまたは [ スキャナー ] タブ（ISIS ドライバ）の [ **最長原稿サイズ** ] オプション が、スキャンする最長原稿より長く設定されていることを確認してください。

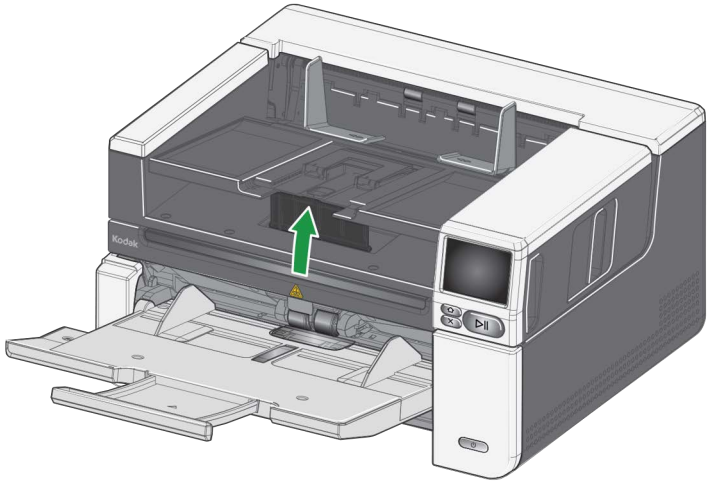
注記：

- 17 インチ/43.2 cm より大きい原稿をスキャンするにはオペレーターの支援が必要な場合があります。その他のスキャナードライバの設定ではスキャン可能な原稿の長さが制限される場合があります。
- 17 インチ（43.2 cm）より長い原稿をスキャンする場合、エクステンショントレイの使用をお勧めします。利用可能なサプライおよび消耗品を記載したリンクは、64 ページをご覧ください。

## 排紙トレイの調整

スキャン済みの原稿を整理しておくために、排紙トレイを調整することができます。

- **排紙トレイの角度の調整** — 排紙トレイの前部を持ち上げると、その下から高さの調節タブが出てきます。

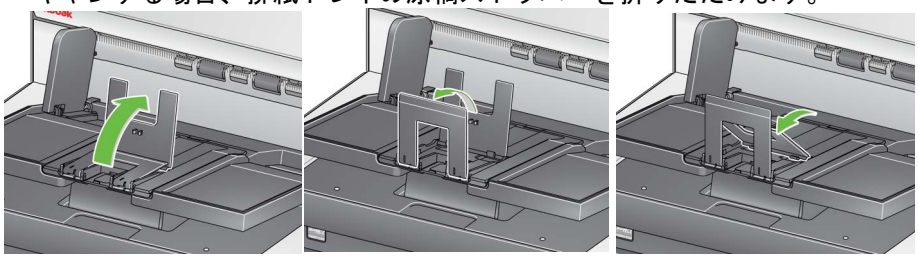


排紙トレイを下げるには、排紙トレイの下の高さの調節タブをゆっくり押して、排紙トレイを下げます。これにより排紙スタッキングが改善する場合があります。

- **サイドガイドの調整** — 排紙トレイの上にあるサイドガイドを給紙トレイのサイドガイドの位置に一致するよう調整します。

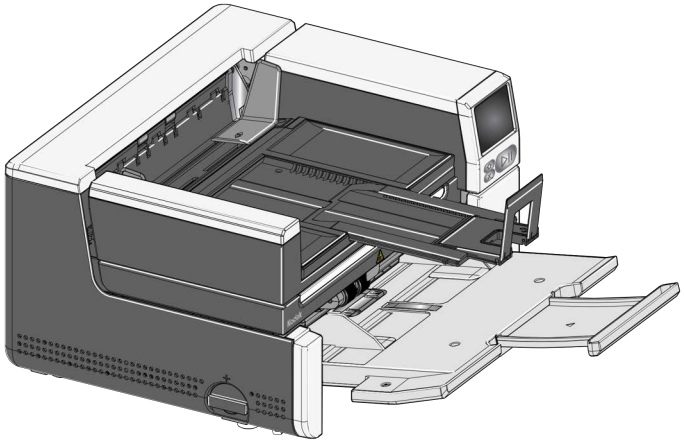


- **原稿ストッパーの調整** — 排紙トレイの原稿ストッパーは、給紙する原稿の長さよりも長くなるように調整します。排紙トレイよりも長い原稿をスキャンする場合、排紙トレイの原稿ストッパーを折りたたみます。

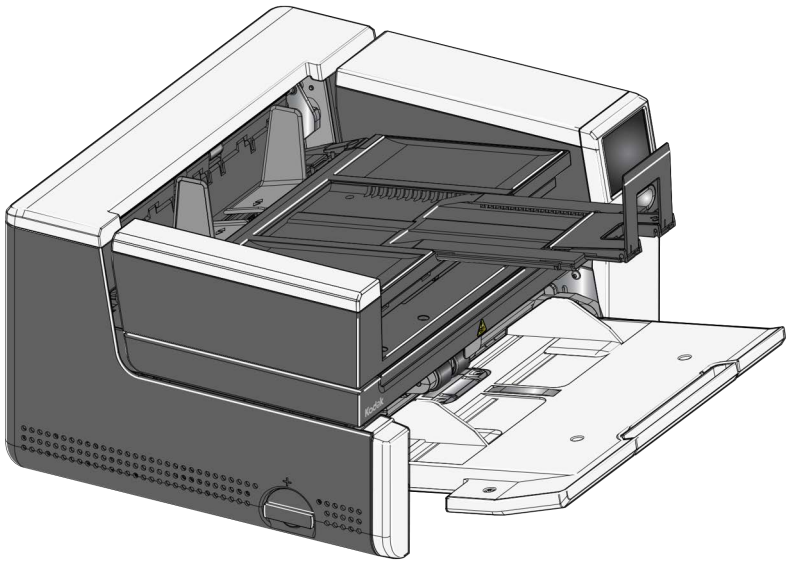


**í 原稿の長さに合わせて排紙トレイを調整**

- 排紙トレイの延長部分を開いて、長い原稿を収納します。



- 排紙トレイを延長し、排紙トレイを持ち上げて高さ調整タブにかみ合わせます。この位置は、原稿をより均一にスタックすることができます。

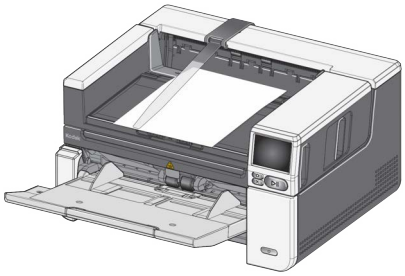


注記： 17 インチ（43.2 cm）より長いの原稿をスキャンする場合、エクステンショントレイの使用をお勧めします。利用可能なサプライおよび消耗品を記載したリンクは、64 ページをご覧ください。

- **原稿の重さ** — 入力エレベーターは、S2085f およびすべての S3000 モデルで約 300 枚の普通紙 20 #ボンド紙、および S3120 Max および S3140 Max モデルで 500 枚の普通紙 20 # ボンド紙を保持できます。

## 排紙口偏向板の取り付け

スキャナーには、特注の排紙口偏向板とマウントが付属しています。ダングラーは排紙トレイに積み重なる原稿を合わせるのに役立ちます。複数のサイズの排紙口偏向板があります。スキャンする原稿セットに応じ、最適なサイズのデフレクタのいずれかを取り付けます。

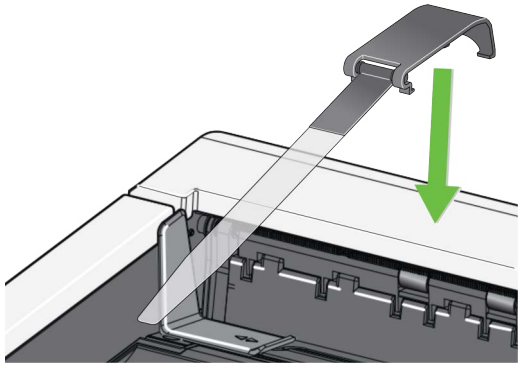


**排紙口偏向板のマウントへの取り付け**

排紙口偏向板のタブをマウントのスロットに合わせ、カチッと収めます。



**マウントのスキャナーへの取り付け**



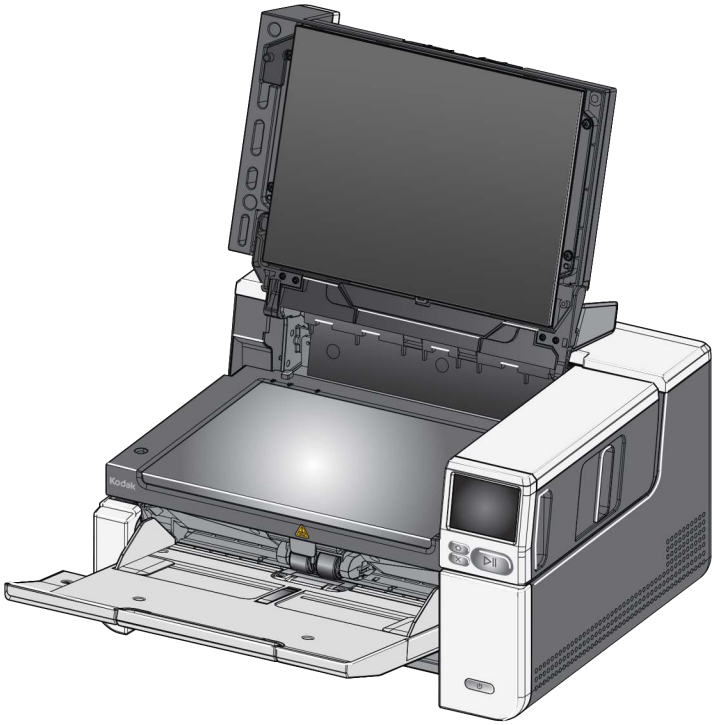
マウントの後部をスキャナーカバーの背面に掛け、カチッと収まるまでマウントの前面を押し下げます。

## フラットベッドスキャン

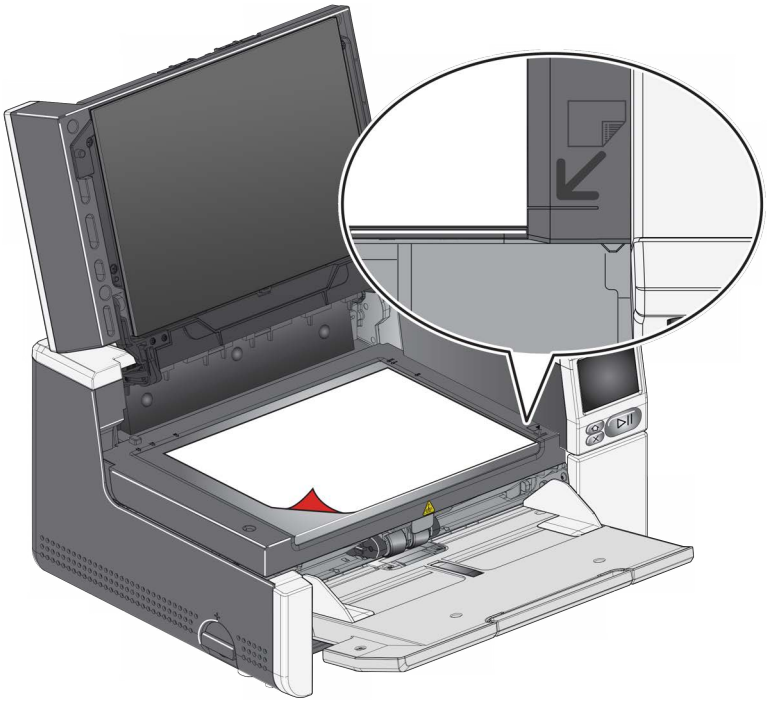
*（S2085f、S3060f、S3100f スキャナーのみ）*

フラットベッドは特別な処理を必要とする原稿、ファイルフォルダ、書籍、雑誌、パスポートなどをスキャンするのに使用できます。

1. フラットベッドカバーを開きます（3 ページの「ここをにぎってフラットベッドを開く」を参照）。



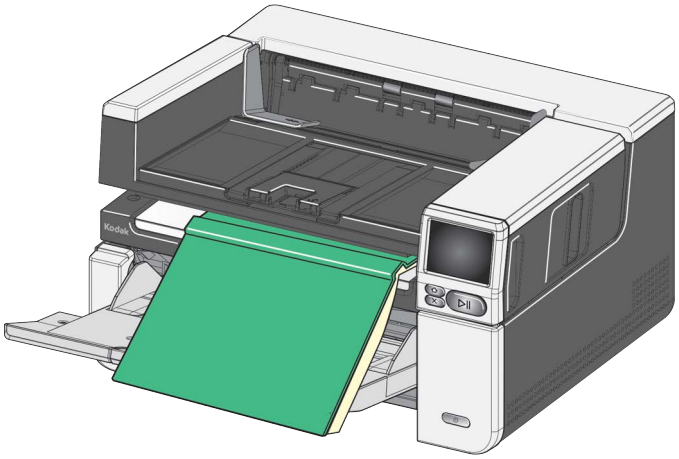
2. プラテンガラスに原稿の**スキャンする面を下に**して置きます。



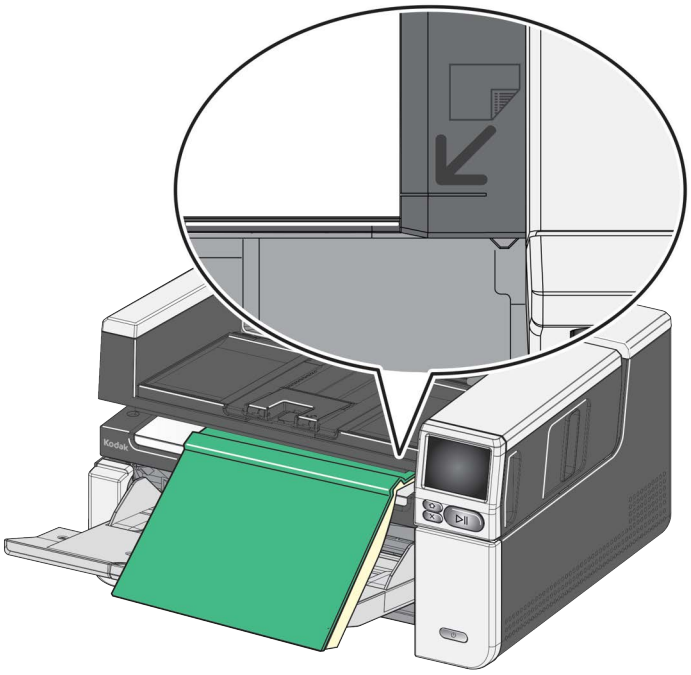
3. 右下隅の矢印に原稿を配置します。
4. フラットベッドカバーを閉じます。
5. スキャナータッチスクリーンからスキャンアクティビティを選択するか（40 ページの「プロファイルの準備状態」を参照）、お使いのスキャンアプリからスキャンを開始します。

注記：

- フラットベッドからスキャンする場合、スキャナーの給紙トレイに原稿がないことを確認してください。
- フラットベッドから原稿 / 本をスキャンする場合、フラットベッドカバーが閉じていることを確認します。カバーは自動的に原稿 / 本の厚みに調整されます。



- 原稿 / 本をフラットベッドに配置する場合、原稿はフラットベッドの端まで全体に広がる場合があります。ただし、フラットベッドはフラットベッドガラスのフレームのラインに並んだ情報のみをスキャンします。



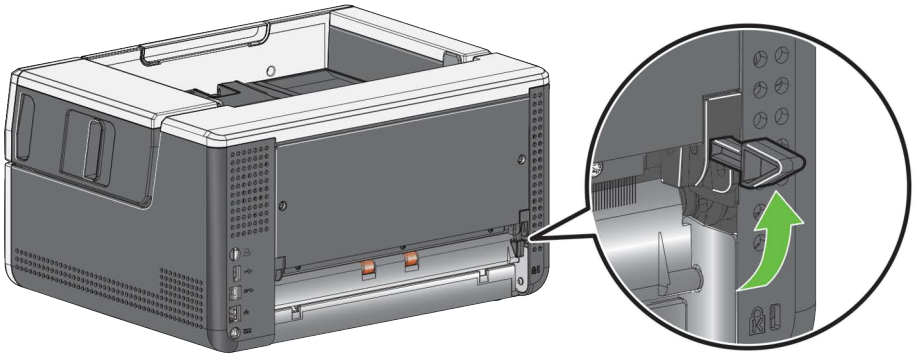
- フラットベッドカバーの背面はきれいで平らでなければなりません。何らかの欠陥がある場合、自動クロッピングの性能に影響がある場合があります。

注記： バックグラウンドが摩耗または損傷してきたら、交換できます。（利用可能なサプライおよび消耗品を記載してリンクについては、64 ページを参照してください。交換手順については、64 ページの「フラットベッドのバックグラウンドの交換」を参照してください。）

## 背面排紙口の使用

特別な処理を必要とする原稿（破損しやすい原稿、梱包材料）は背面排紙口から出力できます。この排紙口は、ストレートパス搬送オプションによって、特別な処理を必要とする原稿にはこの搬送路が使用されます。これにより紙詰まりを防止できます。

背面排紙口を使用するには、背面排紙口のレバーを持ち上げます。



背面排紙口は、以下の場合に使用します。

- 原稿が非常に堅い（例えば、曲げにくい）ため搬送路で向きを変えられず、紙詰まりする。
- 原稿が破損しやすいため、曲げずにスキャンする必要がある。
- 排紙後の原稿の順番が重要ではない。
- スキャン後に原稿が不要になるため、直接リサイクル分別箱に入れる。
- 写真をスキャンする。
- ハードカードをスキャンする（例えば、クレジットカードまたは身分証明書）

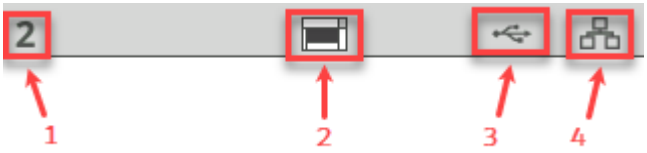
注記：

- スキャン終了後は、背面排紙口のレバーを必ず元の位置に下げてください。
- このオプションを使用する場合、スキャナーの後部に原稿を排紙するのに十分なスペースを確保してください。
- 複数枚の原稿のスキャンに背面排紙口を使用する場合、給紙とは逆の順番で排紙されます。
- 背面排紙口を使用する場合、原稿印字オプションを使用できません。

# スキャナータッチスクリーンの使用

## ステータス領域

スキャナータッチスクリーンには、スキャナーの現在の状態が表示されます。




**1** - 原稿枚数

**2** - 用紙インジケータ（用紙が検知されない場合、このアイコン が表示されます。）

**3** - スキャナーが USB 経由でコンピュータに接続されている。

**4** - スキャナーが有線ネットワークに接続されている。

## タッチスクリーンボタン

S2000f/S3000 および Max シリーズスキャナーには、スキャナー情報および制御のカラーグラフィックディスプレイの付いたタッチスクリーンが搭載されています。画面をナビゲートするには、選択またはボタンをタッチします。

[ メニュー ] ボタン を押すと、メインメニューに進みます。

[ 次へ ] ボタン を押すと、次の画面に進みます。

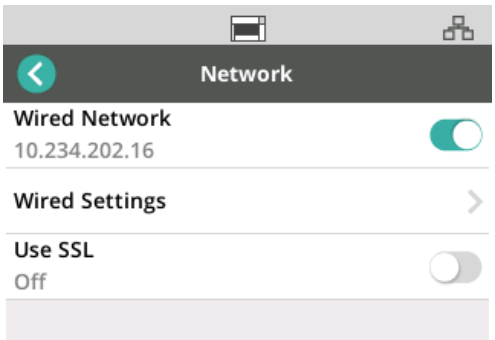
[ 戻る ] ボタン を押すと、表示が前の画面に戻ります。

[ 一時停止 ] ボタン を押すと、スキャンが中断します。

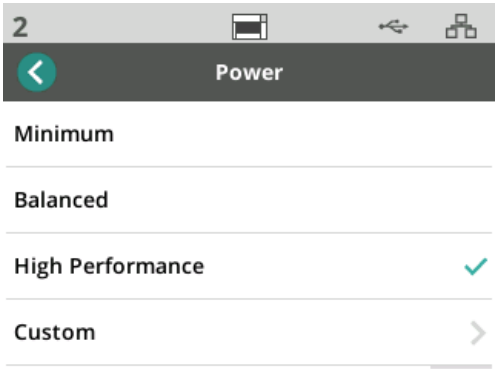
[ 開始 / 再開 ] ボタン を押すと、スキャンが再開されます。

[ 停止 ] ボタン を押すと、スキャンアクティビティが終了します。

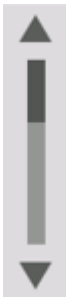
メニューオプションの横にこのアイコン が表示される場合は、このオプションの「オン」または「オフ」を切り替えることができます。カラー表示されるアイコンは「オン」、グレー表示されるアイコンは「オフ」を意味します。



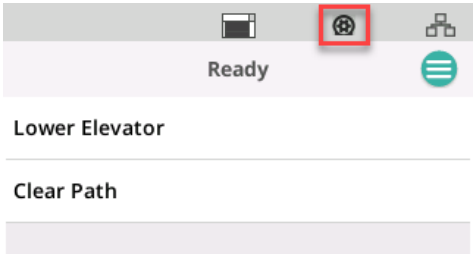
次のようなチェックマークは、そのオプションが選択されていることを意味します。




オプションの数が多いために画面に収まらない場合は、次のようなスクロールバーが表示されます。



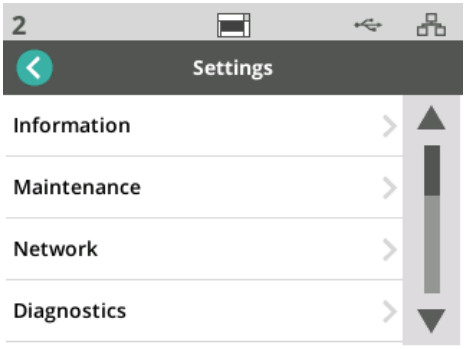
スキャナーのタッチスクリーンの上部に摩耗したタイヤのアイコンが表示されたら、




スキャナーをクリーニングまたは消耗品（ローラー、タイヤ等）を交換する時期です。31 ページの「メンテナンス」を参照してください。このアイコンは、メンテナンスメーターの 1 つの期限が到来した場合にのみ表示されます。

## 設定画面

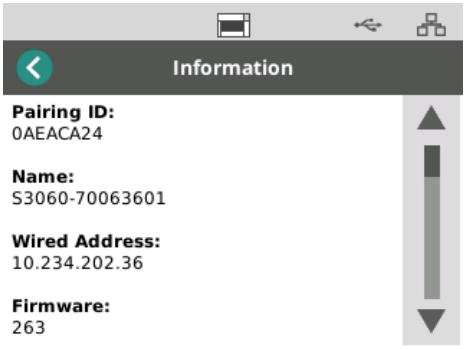
設定画面は、スキャナーの設定の開始点です。設定画面にアクセスするには、メニュー ボタン（29 ページの「メニューボタン」を参照）にタッチして*設定*を選択します。ここから、スキャナー情報を収集し、校正を実行し、メンテナンス項目を追跡し、現在の電源オンサイクル中に発生したスキャナーのイベントを表示することができます。




[ *設定* ] メニューでは、以下のオプションが利用できます。

### 情報

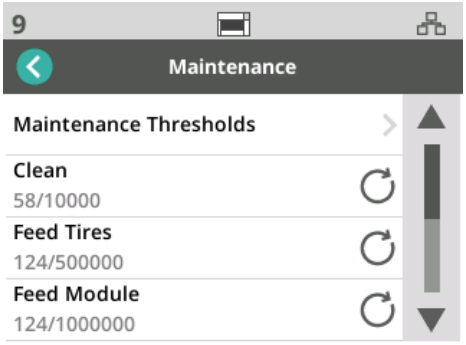
情報オプションでは、組み合わせ ID、ネットワーク名、ネットワークアドレス情報、ファームウェア、シリアル番号、総ページ数、最初のスキャン、トランスポート、および電源オンメーター、トランスポート、前方ランプ、後方ランプメーターが表示されます。




### メンテナンス

メンテナンスオプションは、メンテナンスメーターログへのアクセスを提供します。この機能を使用すると、スキャナーのコンポーネントをクリーニングしスキャナーの消耗品を交換するためのメーターを調整することができます。

注記： 摩耗したタイヤのアイコン（30 ページを参照）は、メンテナンス閾値を超えた場合に表示されます。



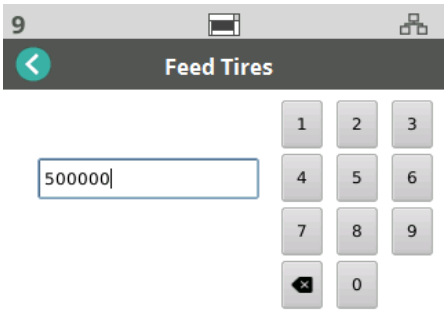
メーターメニューの各アイテムは、前回の清掃または交換からのスキャンの回数、および次回の清掃または交換までの推奨される最大のスキャン回数を表示します。上記の例では、前回のフィードモジュールの交換から 124 回スキャンが行われ、次回の交換までに最大 1,000,000 回のスキャンが推奨されます。

以下の項目についてのメーターがあります。

- 清掃
- フィードタイヤ
- フィードモジュール
- アージングタイヤ
- プリセパレーションパッド
- セパレーションタイヤ
- セパレーションモジュール

項目についての最大スキャン回数を調整する：

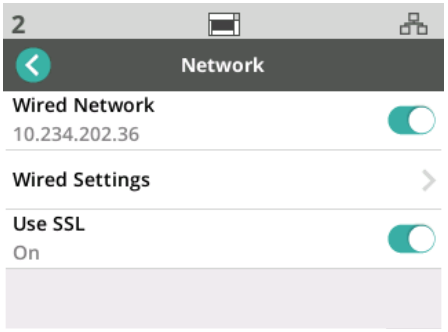
1. メンテナンス閾値バーを選択します。
2. 調整する項目を選択します。*メータのリセット*画面が表示されます。
3. 「はい」と回答します
4. タッチスクリーンのキーパッドを使用して、新しいメンテナンス間隔を入力します。




## ネットワーク

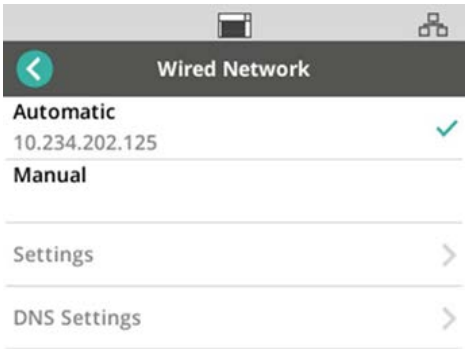
ネットワークオプションを使用して、スキャナーがアクセスするネットワークを選択します。トグルボタンで、有線ネットワークおよび / または SSL セキュアソケットの接続を有効 / 無効にします。

TLS は、インターネット通信上のプライバシーおよびデータ完全性を提供するセキュリティプロトコルです。



### 有線ネットワーク設定

有線ネットワークを使用している場合は、**自動**または**手動**のネットワークアドレス構成を選択します。




自動設定では、ネットワークは IP アドレスをスキャナーに割り当てます。

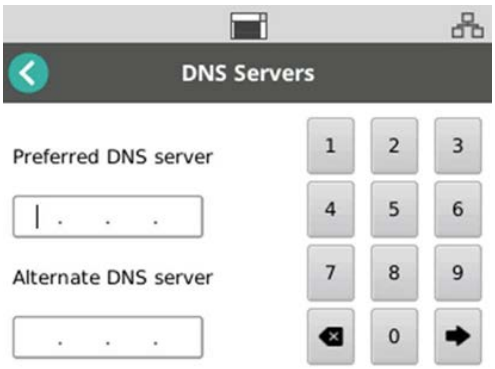
スキャナーを静的 IP アドレスに接続する方法：

1. **手動**を選択します。
2. **設定**を選択します。
3. タッチスクリーンのキーパッドを使用して、静的 IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ（オプション）を入力します。



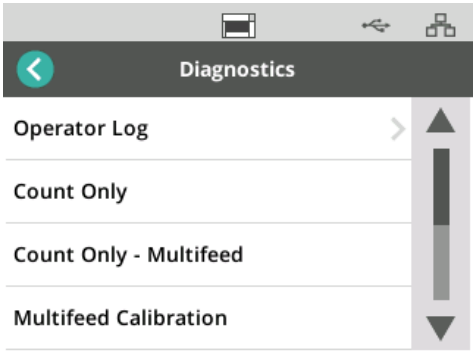

スキャナーを DNS サーバ（ドメイン名サーバ）に接続する方法：

1. **手動**を選択します。
2. **DNS 設定**を選択します。
3. タッチスクリーンのキーパッドを使用して、優先 DNS サーバおよび代替 DNS サーバ（オプション）の IP アドレスを入力します。

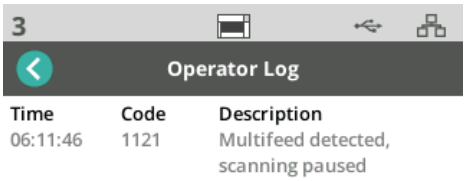


## 診断

**診断オプション**を使用して、現在の電源サイクルで発生したスキャナーのイベントを表示するか、様々な校正を実行します。

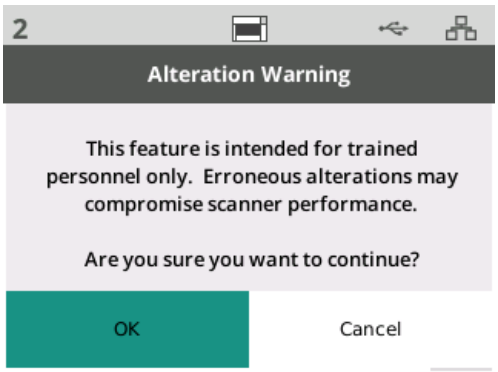



**オペレーターログ** - 前回スキャナーの電源がオンになってから発生したスキャナーのイベントを表示します。各イベントの入力は、発生回数、エラーコード、およびイベントの説明を一覧表示します。例：「スキャナーの初期化に失敗しました。サービスにお問い合わせください。」




- **重送キャリブレーション** - 重送キャリブレーションを開始します ( AlarisWorld.com/S2000f-S3000-troubleshootingのオンラインでのトラブルシューティングページの「Perform a Multifeed Calibration (重送キャリブレーションの実行)」を参照してください)
- **カウントのみ** - エレベーター内の原稿をスキャンせずにカウントします。*カウントのみ*を選択し、スキャナー画面の手順に従ってください。原稿の合計数がステータス領域に表示されます。
- **重送のみカウント** - このオプションによりスキャンせずに原稿をカウントできますが、重送を検出するとスキャナーは停止します。重送された原稿を取り出し、[ 一時停止 / 再開 ] ボタンを押してスキャンを続行します。
- **フラットベッドキャリブレーション** - フラットベッドイメージキャリブレーションは、出荷時に実施されます。これは、フラットベッドファームウェアアップデートの後にのみ必要な場合があります（まれに発生）。
- **タッチスクリーンキャリブレーション** - タッチスクリーンキャリブレーションは、タッチスクリーン上のタッチポイントが正しく機能していることを確認するために使用されます。タッチスクリーンは出荷時にキャリブレーションされます。これは、テクニカルサポートにより指示のない限り実施しないでください。

- **変更** - このオプションは保守専用です。Kodak Alaris のサービス担当者から指示を受けた場合のみ、このオプションを使用してください。

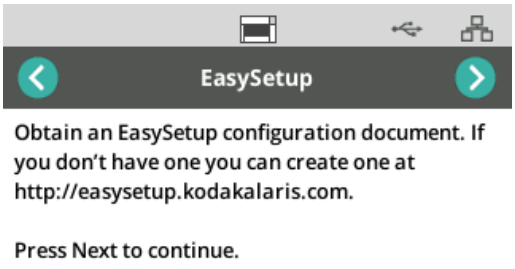



## Easy Setup

Kodak Alaris は、スキャナーのネットワーク設定の構成について簡単に使用できる代替案を提供します。スキャナーのオペレーターは EasySetup 原稿をスキャンすると、ネットワーク設定が自動的に構成されます。

EasySetup 原稿を取得します。

1. [ *設定* ] 画面で [*EasySetup*] を選択します。

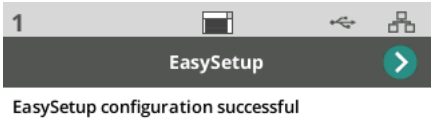



2. EasySetup 原稿を給紙トレイに上向きにセットします。

3. [ 次へ ] ボタン  をタッチします。

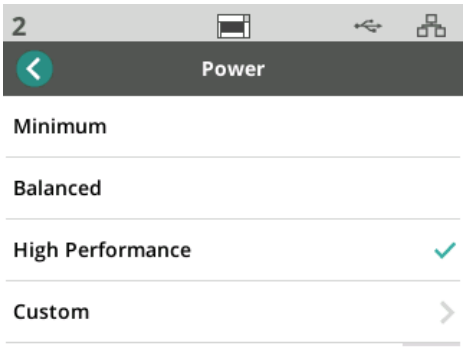



4. スキャナーが構成プロセスのステータスを表示します。
   - EasySetup を構成しています
   - スキャン中
   - 接続中
   - 完了メッセージ



## 電源

省電力機能（省電力モードに入るまでにスキャナーがアイドル状態の分単位の時間）および電源オフ（電源がオフになるまでにスキャナーがアイドル状態の分単位の時間）設定を調整することができます。*電源*を選択して設定を調整します。




1. 3 つの事前に設定された電源構成の中から 1 つ選択します。
   - **最小**：*省電力機能*は、5 分に設定され、*電源オフ*は。
   - **バランス**：*省電力機能*は、45 分に設定され。
   - **高パフォーマンス**：*省電力機能*は、120 分に設定され。
2. または、カスタムを選択することにより電源設定をカスタマイズすることができます。




   - *省電力機能*の時間を分単位で入力します。

**言語**

言語機能を使用して、スキャナータッチスクリーンの言語を選択または変更します。




**エレベーター**

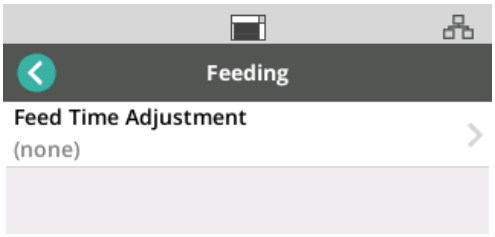
エレベーター機能を使用すると、自動給紙エレベーターを有効化 / 無効化することができます。[ 自動 ] に設定すると、空のエレベーターに原稿が置かれるとすぐにエレベーターは最も高い位置に上昇します。



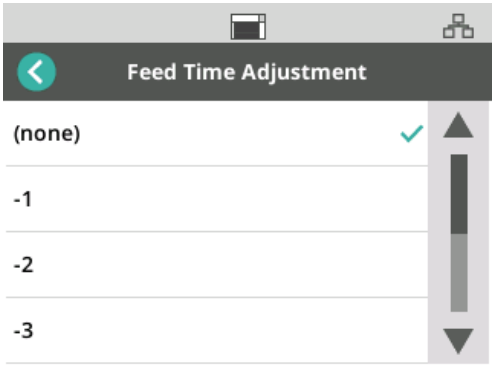

**フィード調整**

この機能を使用すると、フィードローラーが動く時間の長さを調整することができます。簡単に言うと、軽量で、薄い、または繊細な原稿は紙詰まりを起こします。この設定を変更してみてください。-1 ～ -4（最短時間）を選択し、スキャン中の原稿について最適な設定を見つけてください。この調整はスキャナーの搬送速度には影響しません。

1. 設定メニューから *[ 給紙 ]* を選択します。
2. [ 給紙時間の調整 ] を選択します。



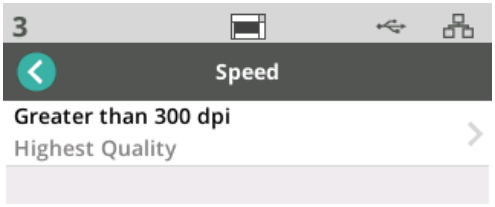

3. スキャン中の原稿の種類に最も適したオプションを選択します。



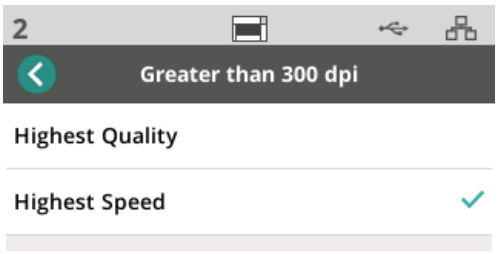
4. -1、-2、-3、または -4 を選択した場合、スキャナーの速度を *[ 最高速度 ]* に設定します。38 ページの「印刷速度」を参照してください。

**印刷速度**

スピード機能を使用して、スキャナーのスピードおよびスキャンしたイメージの解像度を調整します。



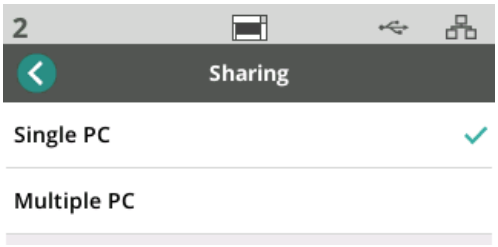

1. *[ 設定 ]* メニューから *[ スピード ]* を選択します。
2. *[300 dpi 以上 ]* を選択します。




3. 設定の選択：
   - **最高品質** - スキャナーは低速で動作し、最高品質のイメージを作成します。
   - **最高速度**（デフォルト）- スキャナーは高速で動作し、良質のイメージを作成します。

**共有**

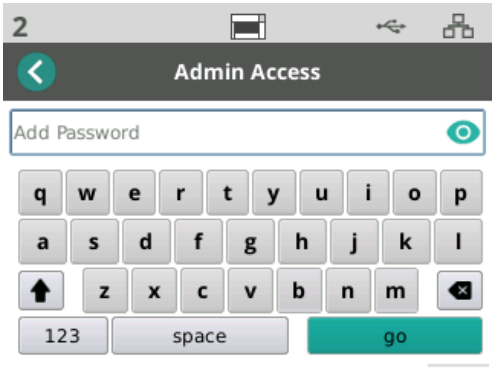
この機能を使用すると、複数の PC によるスキャナーの共有が可能になります。




- **単一の PC**（デフォルト）- スキャナーへのネットワークアクセスを単一の PC に制限します。
- **複数の PC** - 複数の PC によるスキャナーの共有を可能にします。

**管理者アクセス**

このオプションを使用すると、スキャナーへのアクセスが制限できます。管理者アクセスが有効になると、スキャナーのオペレーターはいくつかの設定にアクセスするためにパスワードを入力することが必要になります。パスワードはいつでもこの画面から変更できます。




1. [ *管理者アクセス* ] を選択します。
2. [ *パスワードを追加* ] ボタンをタッチします。
3. パスワードを入力します。
4. [ 移動 ] ボタンをタッチします。

**リセット**

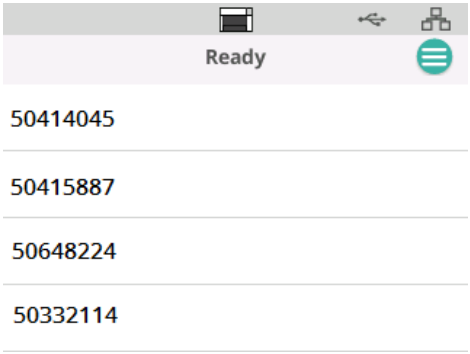
この機能を使用すると、*設定*メニューのオプションを出荷時のデフォルト設定に**すべてリセット**することができます。

## 準備完了状態

Kodak Alaris スキャンアプリケーションは、スキャンアクティビティやユーザープロファイルをスキャナーに登録することができます。

### ユーザーの準備状態

スキャナーの共有モードが複数の PC として構成されている場合、スキャナーに登録されたユーザーはスキャナー表示画面に一覧表示されます。

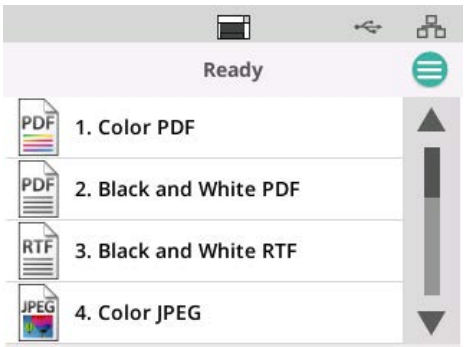



- リストから名前（またはユーザー ID）を選択します。
- パスワードを入力するよう求められる場合があります。

スキャナーの共有モードが単一の PC に設定されている場合、この画面は表示されません。

### プロファイルの準備状態

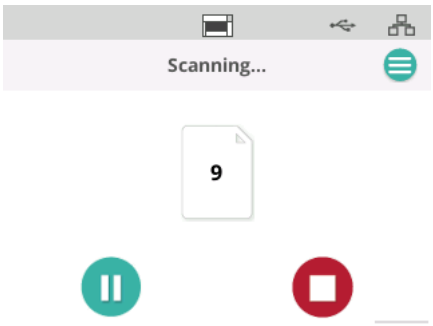
Kodak Alaris スキャンアプリケーションによってアクティビティがスキャナーに登録されると、スキャナーではスキャンアクティビティを開始することができます。スキャナーの共有モードが単一の PC として構成されている場合、これが最初に現れる画面になります。



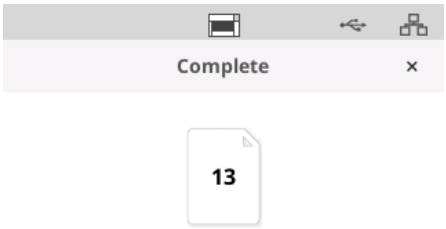

選択したスキャンアクティビティをタッチしてスキャンを開始します。

## スキャン実行中

スキャンが実行中の場合、スキャナーのディスプレはこれまでにスキャンした原稿の枚数をカウントします。




スキャンアクティビティが完了した時間をスキャンされた表示により報告します。表示にはスキャンされた原稿の合計枚数が含まれます。



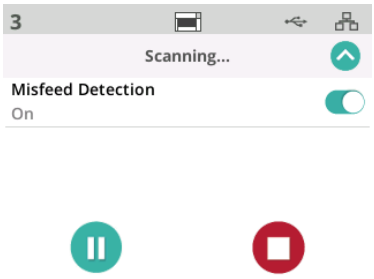

## ミスフィード検出コントロール

ミスフィードとは、イメージング領域を複数のページがまとまって通過することを指します。これにより、1 ページ以上のイメージがスキャンされないか、複数のページのコンテンツが組み合わされたイメージが生成されます。*重送*または*インテリジェントドキュメントプロテクション*がスキャナードライバで有効になっている場合、スキャナーのタッチスクリーンで一時的に無効になる場合があります。

### ミスフィード検出の無効化または再有効化

スキャンアクティビティが進行中の間：

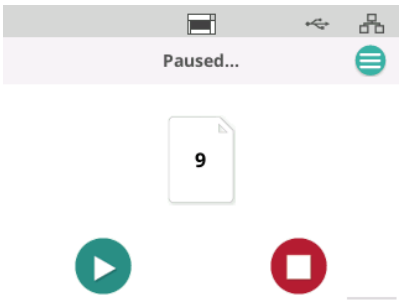
1. [ メニュー ] ボタン  をタッチします。
2. 切り替えボタンをタッチして、ミスフィード検出を無効化または再度有効化します。




注記： スキャナードライバで*重送*および*インテリジェントドキュメントプロテクション*の**両方**が**有効になっていない**場合、この画面は表示されません。

## スキャンの一時停止

ボタンを押すことで、スキャンをいつでも一時停止できます。




スキャナーの表示には、スキャンアクティビティが一時停止したことが反映されます。

ボタンをタッチしてスキャンを再開します。

## 排紙方法

排紙方法の設定により、スキャナーがスキャナーを介して原稿を搬送する方法が決まります。これは、原稿がスキャナーに送られる方法、原稿がスキャナーを通過する速度、および排紙トレイに置される配方法に影響します。高度な排紙オプションによって、出力原稿の収納が改善されます。原稿サイズが混在している、軽量の用紙、静電気のある用紙、または丸まった用紙がある場合に役立ちます。
特別な原稿の排紙方法は、ドライバを使用してジョブごとにセットアップできます。

**スタッキングに関する注意事項：**

用紙が搬送路から離れて、出力停止によってできた隙間に先端が入ることで発生する問題を避けるには、以下を行うことを推奨します。

- スキャンを開始する前に排紙トレイに用紙を 1 枚追加する
- 出力停止を閉じる
- 用紙の先端の最初の接点から十分離れた位置に出力停止を移動させる

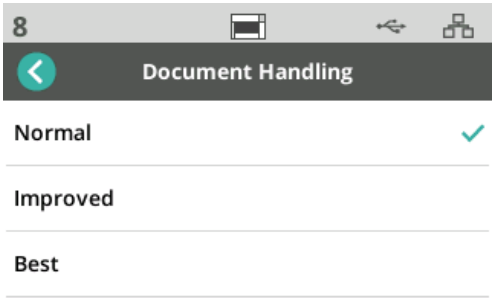
出力停止の取り外しソリューションの場合、制御された排紙スタッキングオプションのいずれかを使用すると、出力スタックの正常性が向上します。

### 排紙方法の設定の調整

スキャン中に、次のようにスキャナースクリーンを使用して、排紙方法を調整できます。

1. スキャナーを一時停止します。
2. メニュー アイコンにタッチします。

3. *[ 排紙方法 ]* を選択します。

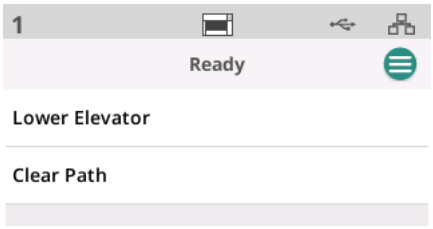



4. 以下のガイドラインに基づいて、標準、サイズ混在、サイズ混在：ベストを選択します。
   - **標準**：追加の処理は行われません。すべての原稿のサイズが同じである場合に [ 標準 ] を使用します。
   - **サイズ混在**：サイズが混在する原稿セット用の排紙トレイで、原稿を積み重ねる / 並べる方法を制御するのに役立ちます。[ サイズ混在 ] は、大多数のサイズ混在原稿セットに使用できます。
   - **サイズ混在：ベスト**：原稿セットにさまざまなサイズの原稿が含まれる場合は、このオプションを使用すると、排紙トレイに原稿をできる限り整えて排紙できます。

## エレベーターおよび搬送路の制御

「プロファイルの準備状態」画面が表示されているためにこれらの制御が見えない場合、メニューからアクセスすることができます。

[ メニュー ] ボタンをタッチします 




- **エレベーター下降** - このオプションをタッチすると、エレベーター（給紙トレイ）を 300 枚（Max モデルの場合は 500 枚）の位置まで下降させることができます。給紙エレベーターにセットする用紙を追加したい場合は、このオプションを使用します。
- **搬送路のクリア** - スキャナーの搬送部から原稿を取り除く場合にこのオプションをタッチします。これは紙詰まりの後に有効です。搬送路全体をクリアにするには、これを数回繰り返す必要があります。

# 4 ドキュメントの印字

## *KODAK* プリンタアクセサリの使用

本章には、S2000f/S3000 および Max シリーズスキャナー用の *KODAK* プリンタアクセサリの使用についての情報が記載されています。このプリンタオプションを使用するには、*KODAK* プリンタアクセサリを購入し、インストールする必要があります。

注記： プリンタアクセサリに付属している説明書を読んで、このアクセサリのインストール手順を確認してください。

プリンタの使用および設定の詳細については、CD に収録されている *TWAIN データソース*、または *ISIS ドライバ*の『スキャンセットアップガイド』、ご使用のスキャンアプリケーションのマニュアルを参照してください。

プリンタアクセサリは、スキャナーの最高速度で動作します。印字内容として、日付、時刻、原稿カウンタ値、固定文字列を使用できます。

印字文字列はバッチ名、オペレータ名など、どの原稿に対しても同じになる固定情報と、原稿のシーケンシャルカウンタなど、スキャンするページごとに異なる可変情報の両方を組み合わせて設定できます。

印字機能はすべて TWAIN データソースまたは ISIS ドライバから設定できます。

注記：

- スキャンセッションを開始する前にプリンタを有効にして、インクカートリッジを取り付けておく必要があります。
- プリンタの使用時には、スキャナーの搬送路を毎日クリーニングしてください。
- プリンタを有効に設定してスキャンするときに、プリンタが設置されていない場合、スキャナー画面にエラーメッセージが表示されます。
- 背面排紙口を使用している場合、ドキュメントの印字を使用することはできません。

## プリンタの仕様

以下の仕様に関する詳細は、TWAIN データソースまたは ISIS ドライバスキャン設定ガイドに記載されています。

| 特性 | 説明 |
|---|---|
| **最大行数** | 1 |
| **最大文字数** | 40 文字（スペースを含む） |
| **印字位置（横方向）** | 11 手動設定<br>注記：11 個の位置についての印字位置のねじを取り外す必要があります。そうしないと、9 つの位置しか使用できなくなります。詳細については、「印字位置の変更」を参照してください。 |
| **印字位置（垂直方向）** | ドライバ設定により決定 |
| **印字方向** | 0 および 90 度 |
| **フォントサイズ** | 標準、太字、極太<br>注記：半角カナなど、太字フォントがサポートされていない場合もあります。 |
| **印字面** | 後部（ポストスキャン） |
| **原稿の先端からの最小印字開始位置** | 0.35 インチ /0.89 cm |
| **インクカートリッジ** | 黒：HP-C6602A<br>赤：HP-C6602R |
| **インクカートリッジ 1 個あたりの印字可能文字数** | 1,500,000 ～ 2,000,000（使用するフォントサイズ等に依存） |
| **使用可能な固定文字フィールド** | アプリケーションを使ったユーザー指定のメッセージ |
| **使用可能な可変フィールド** | 最大 9 桁の連続したドキュメントの番号、日付、4 桁の時間 |
| **サポートされる言語** | すべての表音言語に対応します。例：オランダ語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ポルトガル語、スペイン語、日本語（半角カナ） |

## インクカートリッジの取り付け / 交換

**注意：スキャン中はプリンタを調整または修理しないでください。**

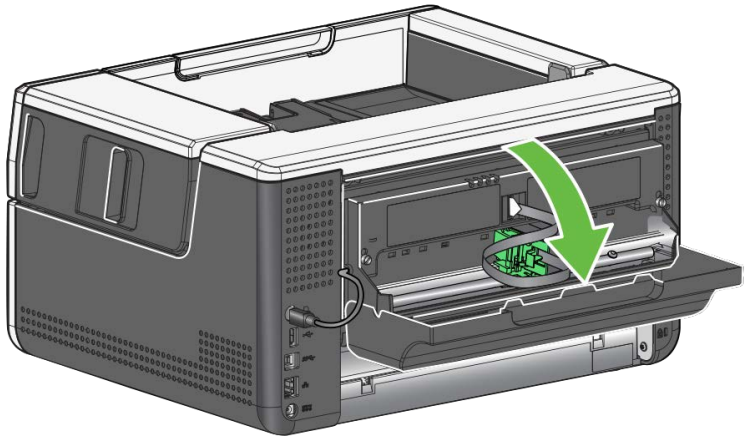
プリンタを使用する前に、インクカートリッジを取り付けてください。ご注文については、64 ページの「サプライと消耗品」を参照してください。

取り付け後、以下の状況が発生した場合は、インクカートリッジを交換する必要があります。

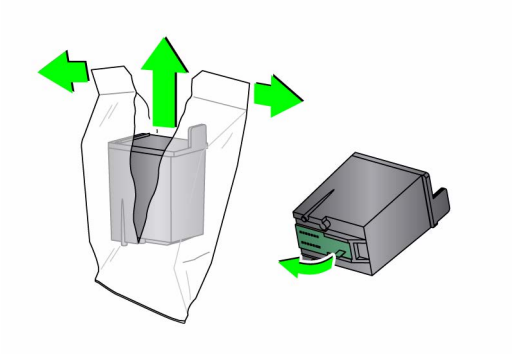
- 印字が薄かったり、濃度が不均一な場合
- 文字抜けまたは文字の質が均一でないことが明らかな場合
- クリーニングを実施しても印字品質が向上しない場合

*重要： 空のインクカートリッジの廃棄は、国や地域の法律に従ってください。*

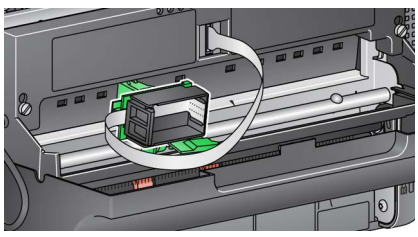
1. プリンタのドアを開きます。



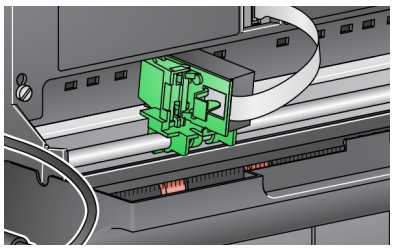
2. インクカートリッジのパッケージを開き、新しいインクカートリッジからシールをはがします。



3. プリンタのキャリアが「ロード」位置にない場合、「ロード」位置まで回転させます。

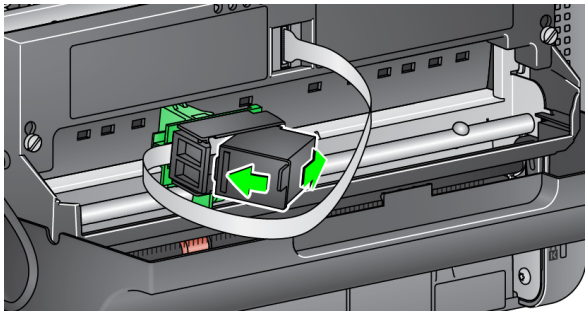


**ロード位置**

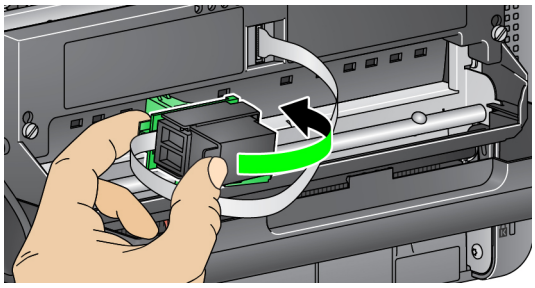


**印字位置**

4. 図の様にインクカートリッジをインクカートリッジホルダに挿入します。



5. 緑色のリリースタブを押し、インクカートリッジホルダを「印字」位置に回転させます。

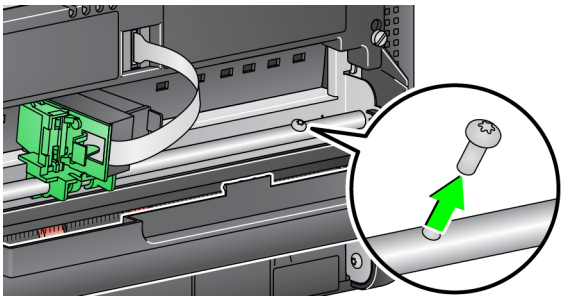


6. インクカートリッジホルダを適切な位置に取り付けます。49 ページの「印字位置の変更」を参照してください。
7. プリンタのドアを閉じます。

   注記： プリンタのドアが閉まらない場合、プリンタのキャリアが「印字」位置にあることを確認します。

## 印字位置の変更

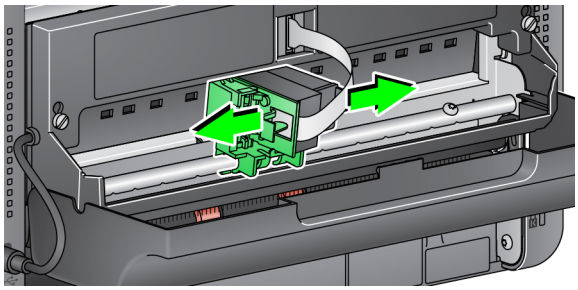
11 個の印字位置を使用したい場合、印字位置ねじを取り外す必要があります。ねじをそのままにしておくと、9 つの印字位置しか使用できなくなります。



印字の横位置は手動で変更する必要があります。

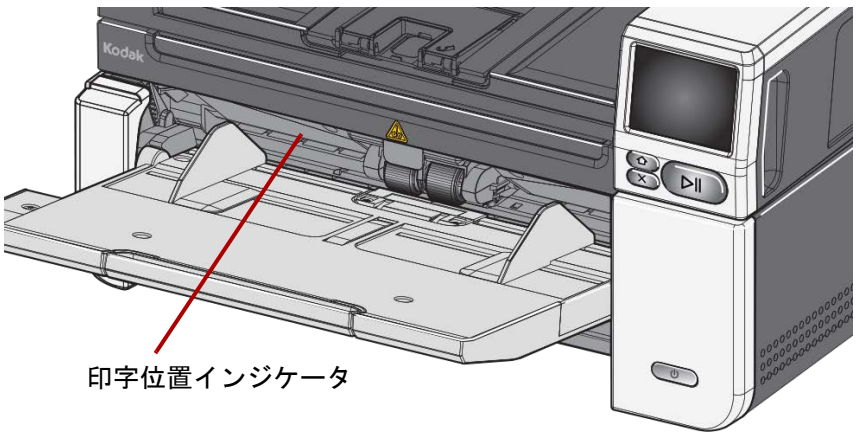
1. プリンタのドアを開きます。
2. インクカートリッジホルダを適切な位置に取り付けます。

   *重要： 印字位置を変更する場合、プリンタのキャリアが印字（デテント）位置に固定されているのを確認することが重要です。インクカートリッジホルダを印字位置にスライドさせる場合、カチッと音がしてインクカートリッジホルダが所定の位置に収まったことを確認することができます。*



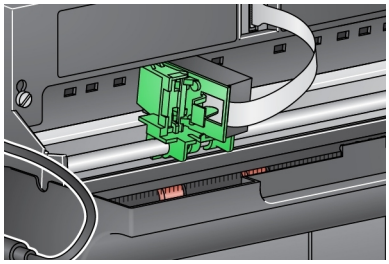
3. プリンタのドアを閉じます。

   注記： トランスポート先端の印字位置インジケータを見て、印字の横位置を確認できます。



# 問題解決

プリンタ使用時に発生した問題への対処方法については、以下のリストを参考にしてください。

| 問題 | 解決方法 |
|---|---|
| **印字の品質が悪いまたは一定していない** | • インクカートリッジが空でないことを確認します。<br>• インクカートリッジが正しく取り付けられていることを確認します。<br>• インクカートリッジが正しい位置にあることを確認します。<br>• スキャンアプリケーションでプリンタが有効になっているか、また印字文字列が指定されているか確認します。<br>• プリンタコネクタが確実に固定されていて、プリンタケーブルがしっかりと取り付けられているか確認します。<br>• プリントヘッドをクリーニングします（下の「プリントヘッドの乾燥による印字開始時の問題」を参照）。 |
| **プリントヘッドの乾燥による印字開始時の問題** | インクカートリッジホルダからインクカートリッジを外し、糸くずの出ない布または綿棒を使用してインクカートリッジのインクジェット部分を軽く叩き（拭かないでください）、インクカートリッジを取り付け、再度実行してください。 |
| **印字しない** | • スキャンアプリケーションでプリンタが有効になっていることを確認します。<br>• 目的の印字位置に、インクカートリッジ / インクカートリッジホルダが正しく取り付けられていることを確認します。<br>• プリントヘッドからテープが外されていることを確認します。<br>• プリンタアクセサリが取り付けられていることを確認します。 |
| **スキャナーの背面でインクが噴霧されている** | • インクカートリッジホルダが印字位置に固定されていることを確認します（49 ページの「印字位置の変更」を参照）。 |
| **プリンタドアが閉まらない** | • インクカートリッジホルダが「印字」位置にあることを確認します。<br> |

# 5 FADGIスキャンとホスト処理

## FADGI（連邦機関デジタルガイドラインイニシアチブ）スキャン

KODAK S2000f-S3000シリーズのスキャナーは、FADGI 2023 Modern Textual Records Standard（FADGI2023現代テキスト記録基準）*に準拠しています。FADGIの詳細については、以下を参照してください。

https://www.digitizationguidelines.gov/

IMPORTANT: *S2085f、S3060f、S3100fスキャナーは、ADF経由でスキャンする場合にのみ準拠します。統合フラットベッドから生成された画像は準拠しません。

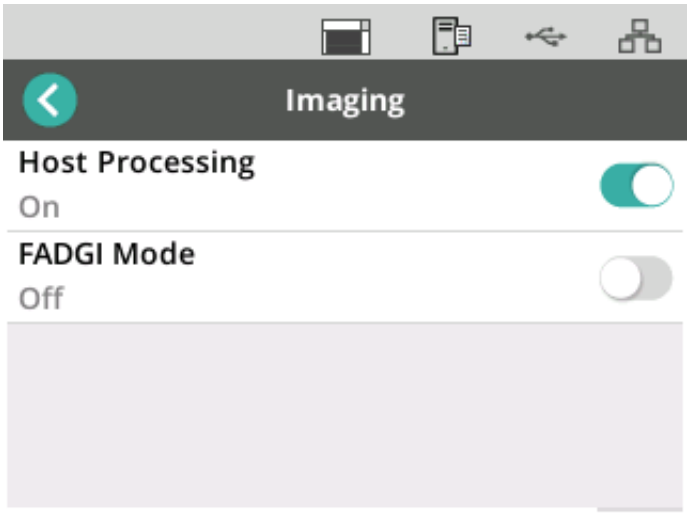
FADGIスキャンを行う方法について詳しくは、以下のFADGIスキャン補足ガイドを参照してください。

https://www.alarisworld.com/go/S3000-series-fadgi-scanners-supplemental-user-guide

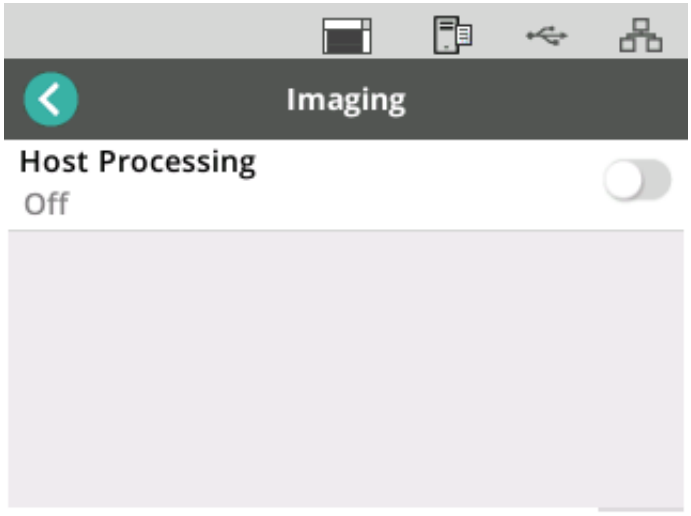
## ホスト処理

ホスト処理とは、ホストコンピューターで画像処理を実行することを可能にするスキャナーモードです。このモードは、OCPから選択します。

1. 処理モードの選択を更新するには、「イメージング」メニューを開いて、「ホスト処理」スライダーを右に移動し、オンにします。



2. ホスト処理をオフにするには、スライダーを左に戻します。



# 6 メンテナンス

## 章の概要

この章では、*KODAK* S2085f/S3060/S3060f/S3100/S3100f/S3120/S3120 Max/S3140 Max スキャナーに必要な清掃とメンテナンスの手順について説明します。これらの手順の頻度はスキャン環境、用紙、イメージ処理の要件によって異なります。スキャンの量が多い場合は、スキャナーの清掃および消耗品の交換の頻度も多くなります。Kodak は、スキャンが実際に行われている現場に長年立ち会ってきました。その経験から、スキャナーの正しい清掃とメンテナンスによって、より少ない時間でより多くの原稿をスキャンでき、問題も防止できることが確認されています。適切にメンテナンスされた *KODAK* S2085f/S3060/S3060f/S3100/S3100f/S3120 Max/S3140 Max スキャナーは、何年もの間トラブルなく操作ができます。

スキャナー消耗品（タイヤ、プリセパレーションパッド等）および清掃用サプライは、Kodak Alaris から購入できます（64 ページの「サプライと消耗品」を参照）。消耗品はキットとして販売されています。これらのキットではタイヤ、ローラ、プリセパレーションパッドなどが適切に組み合わされているため、推奨頻度で簡単に交換できます。たとえば、タイヤを交換してもセパレーションローラアッセンブリを交換しなければ、スキャナーの処理能力は必然的に低くなります。消耗品を推奨頻度で交換することで、処理能力を最大化することができます。

## クリーニング用品

スキャナーの日常的なメンテナンスを行うときには、以下のクリーニング用品のみを使用してください。他のクリーニング製品を使用すると、スキャナーに損傷を与える場合があります。

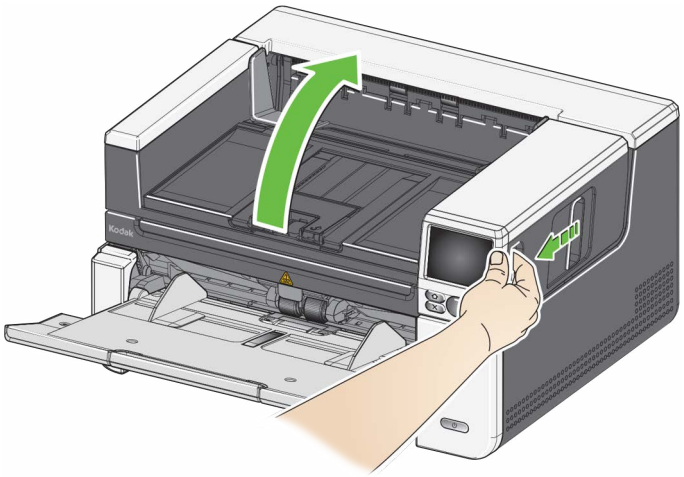
- *KODAK デジタルサイエンス*トランスポートクリーニングシート
- *KODAK* ローラクリーニングパッド
- *KODAK* スキャナー用静電クリーニングクロス
- 掃除機およびツール

オプション：

- イメージングガイドクリーニングセット
- 糸くずの出ない布

## スキャナーカバーの開け方

1. スキャナーの電源を切ります。
2. 給紙トレイ、排紙トレイおよびトランスポートから原稿を取り除きます。
3. スキャナーカバーのリリースラッチを手前に引きます。スキャナーカバーが少し開きます。上部カバーの中央を持ち、内部コンポーネントにアクセスできるよう完全に開きます。



4. スキャナーの清掃や消耗品の交換が終わったら、スキャナーカバーを両手で閉じます。

## 清掃手順

最適な画質を保つには、定期的にスキャナーを清掃して予防的なメンテナンスを施す必要があります。

原稿の種類によっては紙粉やゴミが通常より多く発生するため、より頻繁に清掃する必要があります。

スキャナーの清掃や消耗品を交換する前に、以下を参照してください。

- フィードモジュールおよびセパレーションローラのゴムタイヤに付着するゴミは問題ありません。タイヤのカスは必ずしもタイヤの磨耗や損傷を意味するものではありません。清掃後、タイヤを点検し、必要に応じてセパレーションローラ、フィードモジュール、またはタイヤを交換してください。
- ローラやタイヤを清掃した場合は、ローラやタイヤが完全に乾いてからスキャンしてください。
- 推奨するクリーニング用品以外は使用しないでください。未承認の洗浄液や溶剤を使用すると、ゴムタイヤに損傷を与える場合があります。
- 密閉された場所でクリーナを使用しないでください。適切な換気が必要です。
- 高熱面にクリーナを使用しないでください。清掃前に、室温になるまで表面を冷ましてください。
- スプレーや圧縮空気は使用しないでください。圧縮空気を使用すると、紙粉がスキャナーのイメージングシステムに入り込んで画質の問題を引き起こす可能性があり、Kodak Alaris のサービス担当者なしでは清掃できません。
- スキャナーの近くで可燃性スプレーを使用しないでください。
- 推奨されるクリーニング用品のほかに、掃除機を使用してスキャナーのゴミを取り除くこともできます。
- クリーニング液が超音波センサに入らないようにしてください。6 ページの「内部ビュー」を参照してください。センサにほこりがある場合、センサおよび周囲の部分を真空掃除機でやさしく吸い込みます。
- 静電クリーニングクロスには、目に刺激を与え、肌の乾燥の原因となるイソプロパノールが含まれています。メンテナンス作業が終わったら、石鹸と水で手を洗ってください。詳細については、安全データシート（SDS）を参照してください。SDS は、Kodak Alaris の Web サイト AlarisWorld.com/go/ehs から入手できます。

  注記： SDS にアクセスするには、消耗品のカタログ番号が必要です。カタログへのリンクについては、64 ページの「サプライと消耗品」を参照してください。

### 排紙トレイ、給紙エレベーターおよび搬送部の清掃

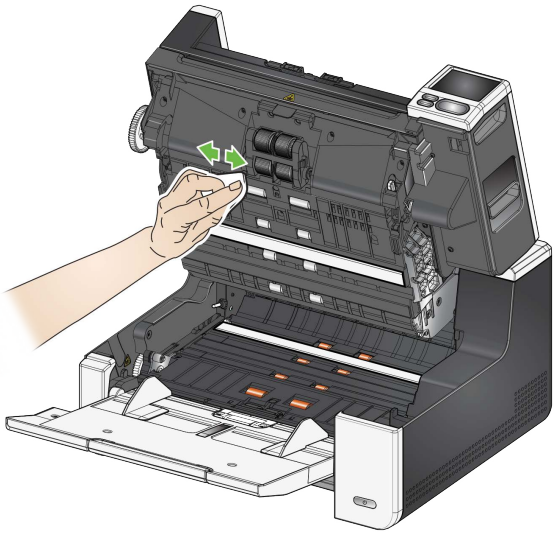
1. スキャナーの電源を切ります。
2. 排紙トレイおよび給紙トレイの付近を掃除機で完全に清掃します。
3. スキャナーカバーを開きます。
4. 搬送部全体に掃除機をかけます。

### ローラの清掃

ローラを清掃する場合、搬送部のローラ、セパレーションローラ、フィードモジュールのタイヤをすべて清掃します。

1. スキャナーの電源を切り、スキャナーカバーを開きます。

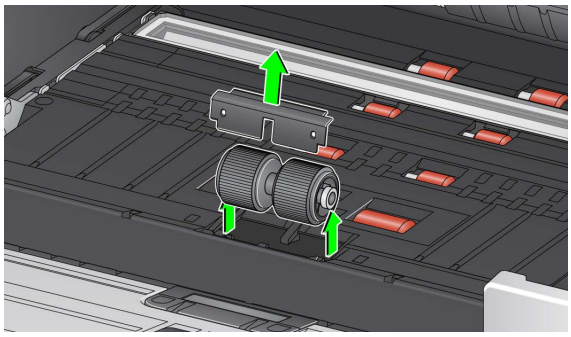
2. ローラクリーニングパッドを使用して、ローラを手で回転させながら汚れを拭き取ります。



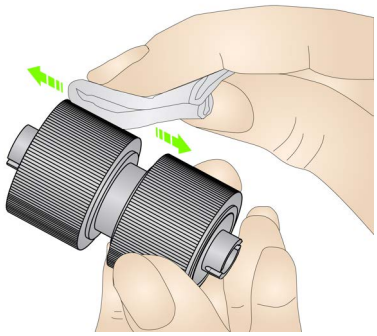
3. 糸くずの出ない布でローラを乾拭きします。

## セパレーションローラタイヤの清掃

4. プリセパレーションパッドを所定の位置から持ち上げて取り外します。
5. セパレーションローラを取り外します。



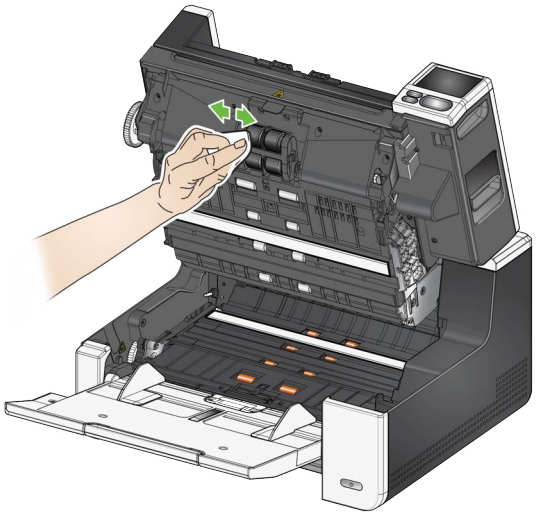
6. セパレーションローラタイヤを手で回転させながら、ローラクリーニングパッドで拭いてください。溝の間にあるゴミを取り除くように、溝に沿って拭くことがポイントです。



7. タイヤを点検します。タイヤに消耗や損傷している兆候が見える場合には、セパレーションローラを交換します。60 ページの「交換手順」を参照してください。
8. セパレーションローラの溝とホルダを合わせて、ローラを取り付けます。
9. プリセパレーションパッドを再取り付けします。カチッと音がして所定の位置に収まったことを確認してください。

### フィードモジュールタイヤの清掃

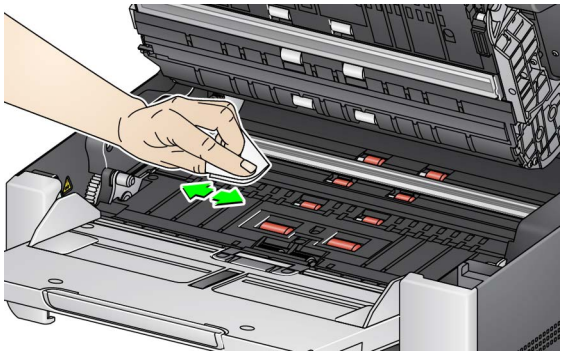
10. フィードモジュールタイヤは手で回しながら、ローラクリーニングパッドで拭きます。溝の間にあるゴミを取り除くように、溝に沿って拭くことがポイントです。タイヤを清掃するときに、フィードモジュールを取り外す必要はありません。



11. タイヤを点検します。タイヤに磨耗や損傷の兆候が見える場合は、フィードモジュールタイヤまたはフィードモジュールを交換します。60 ページの「交換手順」を参照してください。

### バックグラウンドストリップの清掃

12. 静電クリーニングクロス、またはイメージングガイドクリーニングセットを使用して上下のバックグラウンドストリップを拭きます。

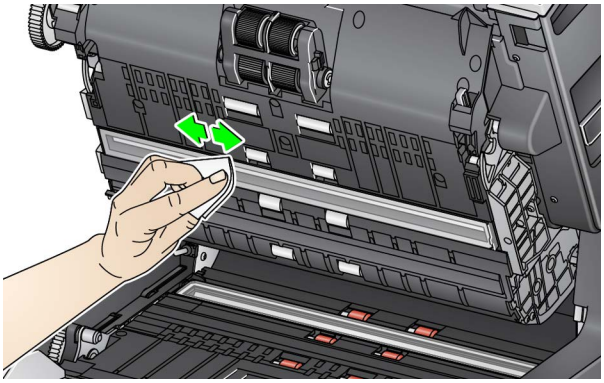


13. **乾いた**静電クリーニングクロス、または糸くずの出ないきれいな布を使って、もう一度上下のバックグラウンドストリップを拭き、縞状の汚れを拭き取ります。

    *重要： 静電クリーニングクロスには、目に刺激を与え、肌の乾燥の原因となるイソプロパノールが含まれています。メンテナンス作業が終わったら、石鹸と水で手を洗ってください。詳細については、SDS（製品安全データシート）を参照してください。*

## CIS イメージャの清掃

14. 上下のイメージングガイドをイメージングガイドクリーニングセット（ステップ 1）、または静電クリーニングクロスで拭きます。清掃中にイメージングガイドに傷を付けないように注意してください。



15. イメージングガイドクリーニングセット（ステップ 2）、または乾いた静電クリーニングクロスを使って、もう一度上下のイメージングガイドを拭き、縞状の汚れを拭き取ります。
16. スキャナーカバーを閉めます。
17. すべての清掃手順を完了したら、スキャナーを起動します。

## フラットベッドガラスの清掃 *(S2085f/S3060f/S3100f スキャナーのみ)*

フラットベッドのプラテンガラスには指紋や埃が付くことがあります。*KODAK* スキャナー用静電クリーニングクロス、またはイメージングガイドクリーニングセットを使用して、プラテンガラスを清掃してください。

1. フラットベッドカバーを開きます。
2. イメージングガイドクリーニングセット（ステップ 1）、または静電クリーニングクロスを使用してプラテンガラスを拭きます。



3. イメージングガイドクリーニングセット （ステップ 2）、または乾いた静電クリーニングクロスを使用してプラテンガラスの水気を拭き取ります。
4. フラットベッドカバーを閉じます。

*重要： フラットベッドのプラテンガラスにクリーニング液を噴霧したり、かけたりしないでください。このような液体はガラスに浸透し、損傷を与えるおそれがあります。*

### トランスポートクリーニングシートによる清掃

搬送路は、トランスポートクリーニングシートを数回通して清掃する必要があります。

1. トランスポートクリーニングシートの台紙を取り除きます。
2. サイドガイドを最大位置まで広げます。
3. 給紙トレイの中央にトランスポートクリーニングシートを横長にセットします。このとき、粘着面を上にしてください。
4. 搬送路クリーニングシートのスキャンを行います。
5. 排紙トレイからトランスポートクリーニングシートを取り出し、粘着面を下にして横向きで給紙トレイの中央に置き、再スキャンします。
6. すべての残渣を取り除くまで、ステップ 4 および 5 を数回繰り返すことが必要な場合があります。

注記： このシートが汚れたり粘着力が低下したら、廃棄して新しいシートを使用します。

### 清掃の最終手順

トランスポートクリーニングシートによる清掃が完了したら、次の作業を実行してください。

1. スキャナーカバーを開きます。
2. 上下の CIS イメージャの表面を、糸くずの出ない布で拭きます。
3. スキャナーカバーを閉じて、テスト用原稿をスキャンして、画質を確認します。

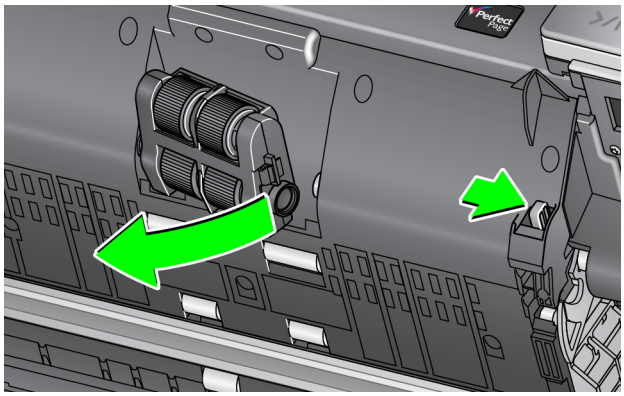
## 交換手順

フィードモジュール、フィードタイヤ、アージングタイヤ、セパレーションローラタイヤ、プリセパレーションパッドの交換頻度についてのガイドラインは、お使いのスキャナーのサポートページを参照し、「サプライ」をクリックしてください。

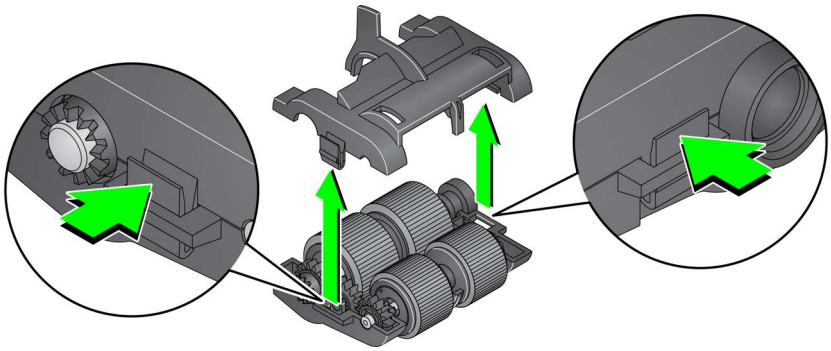
AlarisWorld.com/go/IMsupport

### フィードモジュール、フィードモジュールタイヤの交換手順

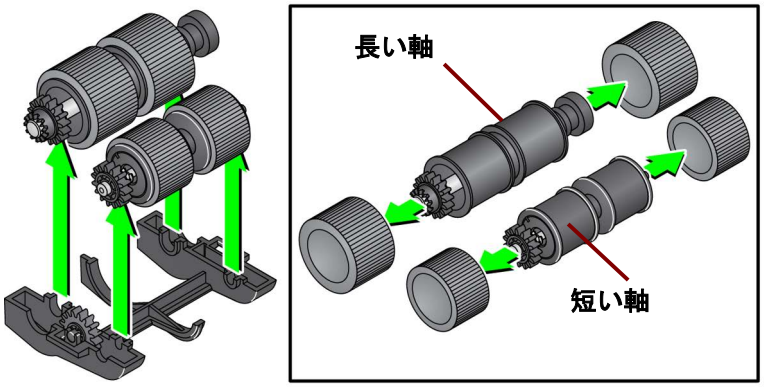
1. スキャナーカバーを開きます。
2. フィードモジュールのリリースレバーを右に押して、フィードモジュールを放します。



3. フィードモジュールを交換する場合は、ステップ 10 に進んでください。タイヤを交換する場合は、ステップ 4 に進んでください。
4. 片手で固定用のタブ（両側に 1 つずつあります）を押しながら、もう一方の手で下部のカバーを押さえます。上部のカバーを引き上げて、モジュールから取り外します。



5. タイヤの付いた軸を 2 つとも取り出します。
6. タイヤを軸から外し、各タイヤを交換します。

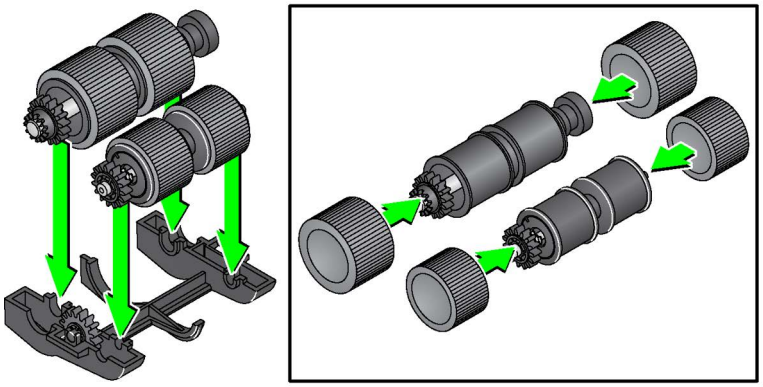


7. 新しいタイヤを軽く引き伸ばしながら軸に取り付けます。タイヤの取り付け時に、向きを気にする必要はありません。

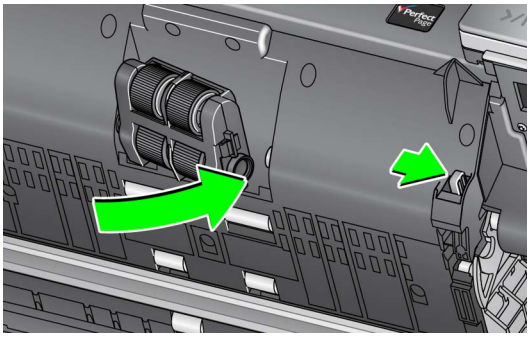
   注記： タイヤを交換する場合、必ず大きなタイヤを長い軸に、小さなタイヤを短い軸に置いてください。

   *重要： タイヤを引き伸ばし過ぎないでください。ちぎれる場合があります。*

8. 下のフィードモジュールカバーに各コアアセンブリを取り付けて、上のカバーのタブを下のカバーのスロットに合わせます。



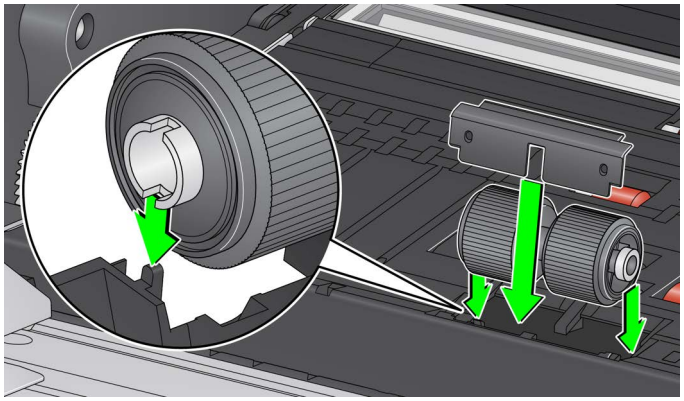
9. 所定の位置にカチッと収まるまで、上下のカバーを同時に押し込みます。
10. フィードモジュールリリースレバーを右に押し、フィードモジュールを正しい位置に挿入します。端が揃っていることを確認してから、フィードモジュールリリースレバーを離します。フィードモジュールがしっかりと所定の位置に収まっていることを確認します。



11. スキャナーカバーを閉めます。

### セパレーションローラの交換手順

1. スキャナーカバーを開きます。
2. プリセパレーションパッドを所定の位置から持ち上げて取り外します。その後、セパレーションローラを取り外します。
3. 新しいセパレーションローラを挿入します。セパレーションローラの溝とホルダの位置を合わせてください。



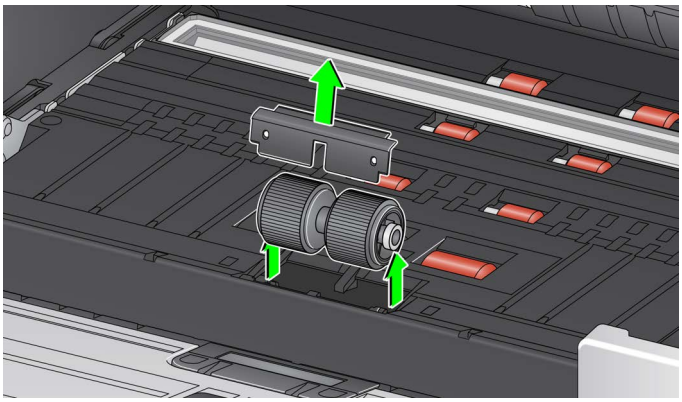
4. プリセパレーションパッドを再取り付けします。カチッと音がして所定の位置に収まったことを確認してください。

   注記： セパレーションローラまたはセパレーションタイヤを交換するときは必ずプリセパレーションパッドも交換することをお勧めします。

5. スキャナーカバーを閉めます。

### セパレーションローラタイヤの交換手順

1. スキャナーカバーを開きます。
2. プリセパレーションパッドを所定の位置から持ち上げて取り外します。その後、セパレーションローラを取り外します。



3. タイヤを軸から外し、各タイヤを交換します。
4. 新しいタイヤを軽く引き伸ばしながら軸に取り付けます。

   *重要： タイヤを引き伸ばし過ぎないでください。ちぎれる場合があります。*

5. セパレーションローラを取り付けます。セパレーションローラの溝とホルダの位置を合わせてください。
6. プリセパレーションパッドを再取り付けします。カチッと音がして所定の位置に収まったことを確認してください。

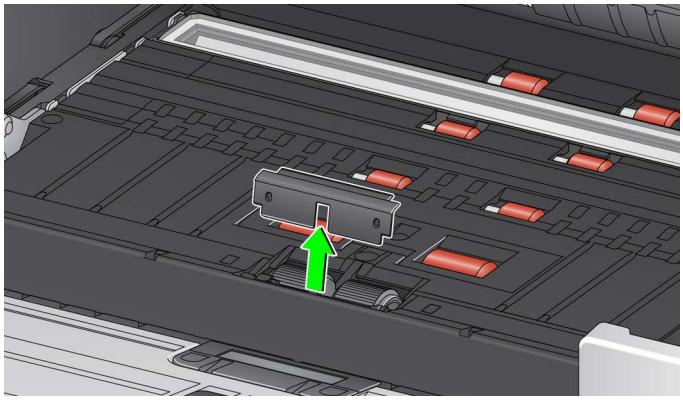
注記： セパレーションローラまたはセパレーションタイヤを交換するときは必ずプリセパレーションパッドも交換することをお勧めします。

7. スキャナーカバーを閉めます。

## プリセパレーションパッドの交換手順

原稿の重送の頻度が増えてきた場合は、プリセパレーションパッドを交換してください。

1. スキャナーカバーを開きます。
2. プリセパレーションパッドを所定の位置から持ち上げて取り外します。



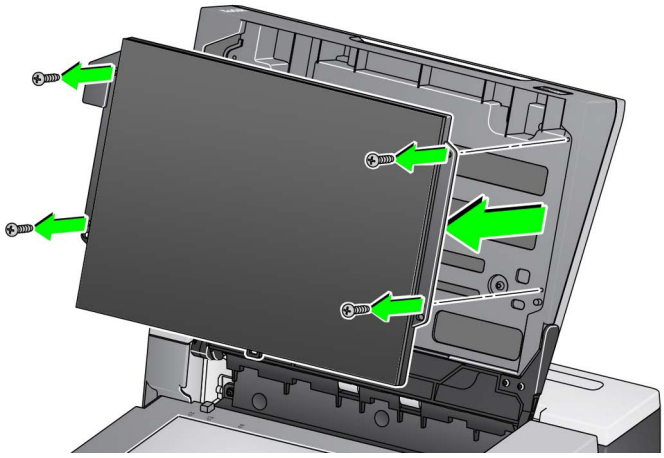
3. 新しいプリセパレーションパッドを取り付けます。カチッと音がして所定の位置に収まったことを確認してください。
4. スキャナーカバーを閉めます。

### フラットベッドバックグラウンドの交換手順 *(S2085f/S3060f/S3100f スキャナーのみ)*

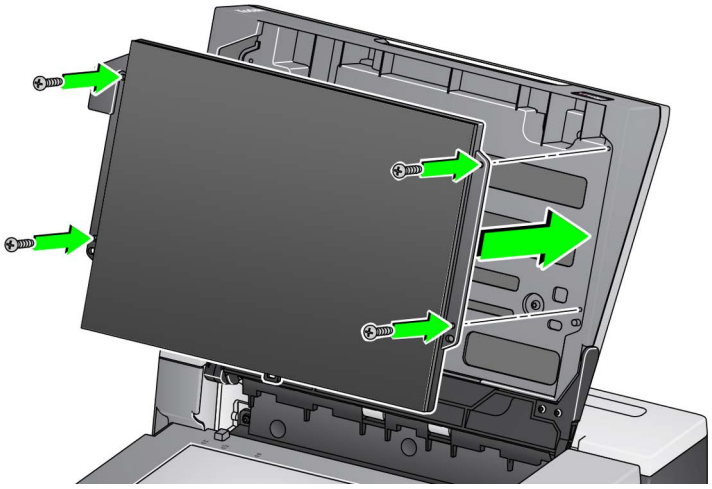
フラットベッドバックグラウンドが損傷または汚れたときは、交換してください。クロッピングの問題がある場合は、バックグラウンドを点検し、必要に応じて交換します。

注記： 交換時には、フラットベッドのバックグラウンドを慎重に取り扱ってください。

1. フラットベッドカバーを開きます。
2. マイナスドライバを使用して、フラットベッドのバックグラウンドを所定の位置に保持している 4 本のねじを緩めて取り外します。



3. 新しいフラットベッドを揃えて、ねじを挿入し、フラットベッドのバックグラウンドが固定するまで締めます。



## サプライと消耗品

消耗品を注文するには、最寄りのスキャナー販売代理店に連絡してください。スキャナークリーニングサプライ、消耗品、アクセサリの一覧、およびメンテナンスガイドラインについては、お使いのスキャナーのサポートページ（下）を参照し、「サプライ」をクリックします。

AlarisWorld.com/go/IMsupport

# 7 トラブルシューティング

## 問題を自身で解決する

*KODAK*S2085f/S3060/S3060f/S3100/S3100f/S3120Max/S3140Maxスキャナーの使用時に発生する問題の解決方法については、AlarisWorld.com/S2000f-S3000-troubleshooting のオンラインでのトラブルシューティングページにアクセスしてください。

## ソフトウェアのアップグレード

Kodak Alaris では問題の修正と新機能の追加のため、ドライバとファームウェアを頻繁にアップデートしています。たとえば、エラーメッセージが繰り返し表示される場合は、サービスセンタに連絡する前に最新のドライバにアップグレードしてください。

次のURL：AlarisWorld.com/go/IMsupport に移動し、お使いのスキャナーのモデルを入力または選択し、最新のアップグレードをダウンロードしてください。

## サービスセンターへの問い合わせ

1. AlarisWorld.com/go/IMsupport にアクセスして、お住まいの国の最新の電話番号を入手してください。
2. お電話の際は、次の情報をお手元にご用意ください。
   - 問題の内容
   - スキャナーのモデルとシリアル番号
   - コンピュータの構成
   - お使いのスキャンアプリケーション

# 付録 A 規制に関する情報

## 注記

このセクションの未翻訳の情報は、これらの地域のお客様にのみ適用されます。

KODAK S2085f/S3060/S3060f/S3100/S3100f/S3120 Max/S3140 Max スキャナーは、ビジネス / 商業用です。

## 環境に関する情報

- *KODAK* S2085f/S3060/S3060f/S3100/S3100f/S3120 Max/S3140 Max スキャナーは、世界の環境要件を満たすよう設計されています。
- この機器の廃棄は、環境への配慮から規制されている場合があります。廃棄またはリサイクルの詳細については、地域の自治体にお問い合わせください（米国の場合は AlarisWorld.com/go/scannerrecycling を参照してください）。
- 過塩素酸塩物質：本製品のコイン電池バッテリーには、過塩素酸物質が含まれている場合があり、カリフォルニア州では、特別な取り扱いが適用される場合があります。www.dtsc.ca.gov/hazardous waste/perchlorate にアクセスしてください。
- メンテナンスまたは保守時に交換した消耗品の廃棄については、ガイドラインを参照してください。詳細については、地域の規定に従うか、最寄りの Kodak Alaris 代理店にお問い合わせください。
- 製品パッケージはリサイクル可能です。
- *KODAK* S2085f/S3060/S3060f/S3100/S3100f/S3120 Max/3140 Max スキャナーは、国際エネルギースタープログラムに適合しており、出荷時にはスリープモードへの移行時間が 15 分に設定されています。

## ヨーロッパ連合（EU）



このマークは、この製品を廃棄する際に、回収とリサイクルを行う適切な施設への送付が義務付けられていることを表します。本製品の収集 / 回収プログラムの詳細については、最寄りの Kodak Alaris 代理店にお問い合わせください。または、kodakalaris.com/go/recycle を参照してください。

REACH 規則（（EC）No. 1907/2006）第 59（1）条の対照リストに含まれる物質に関する情報については、kodakalaris.com/go/REACH を参照してください。

# 製品情報の開示 - *KODAK* S2085f/S3060/S3060f/S3100/S3100f/S3120 Max/3140 Max スキャナー

## 有毒有害物质或元素名称及含量标识表

**有害物質の名前および濃度の一覧**

| 部件名称<br>Component name | 有毒有害物质或元素<br>hazardous substances' name | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 铅<br>(Pb)<br>0.1% | 汞<br>(Hg)<br>0.1% | 镉<br>(Cd)<br>0.01% | 六价铬<br>(Cr6+)<br>0.1% | 多溴联苯<br>(PBB)<br>0.1% | 多溴二苯醚<br>(PBDE)<br>0.1% | 邻苯二甲酸二丁酯(DBP)<br>0.1% | 邻苯二甲酸苄丁酯<br>(BBP)<br>0.1% | 邻苯二甲酸二(2-乙基己基)酯<br>(BEHP)<br>0.1% | 邻苯二甲酸二异丁酯<br>(DIBP)<br>0.1% |
| 适配器<br>(AC Adapter) | X | O | O | O | O | O | O | O | O | O |
| 电路板<br>Circuit Board | X | O | O | O | O | O | O | O | O | O |

**O**: 该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 GB 26572-2025规定的限量要求以下。

**X**: 该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 GB 26572-2025 规定的限量要求。

**O**: indicates hazardous substance concentration lower than MCV

**X**: indicates hazardous substance concentration higher than MCV

环保使用期限（EFUP）




在中国大陆，该值表示电子信息产品中含有的有毒有害物质或元素在正常使用的条件下不会发生外泄或突变，用户使用此产品不会对环境造成严重污染或对人身、财产造成严重损害的期限（以年计）。
该值根据操作说明中所规定的产品正常使用条件而定

**Environment-Friendly Use Period (EFUP)**

In mainland China, this number indicates the time period (calculated by year) within which any hazardous substances present in the product are not expected to be released such that there is risk to human health, property, or the environment.

This value is assigned based on normal use of the product as described in the operating instructions.

**台湾**：

| 設備名稱：掃描器<br>Equipment name | 型號（型式）：<br>Type designation (Type) | *KODAK* S2085f Scanner / *KODAK* S3060 Scanner / *KODAK* S3060f Scanner / *KODAK* S3100 Scanner / *KODAK* S3100f Scanner / *KODAK* S3120 Scanner/ *KODAK* S3120 Max Scanner / *KODAK* S3140 Max Scanner | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 單元Unit | 限用物質及其化學符號<br>Restricted substances and their chemical symbols | | | | | |
| | 鉛<br>Lead<br>(Pb) | 汞<br>Mercury<br>(Hg) | 鎘<br>Cadmium<br>(Cd) | 六價鉻<br>Hexavalent chromium<br>($Cr^{+6}$) | 多溴聯苯<br>Polybrominated biphenyls<br>(PBB) | 多溴二苯醚<br>Polybrominated diphenyl ethers<br>(PBDE) |
| AC適配器<br>AC Adapter | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 離合器<br>Clutch | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 內存模塊<br>Motor | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 鏡片<br>Lens | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 電阻<br>Resistor | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 壓鑄框架<br>Die Cast Frame | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 電路板組件<br>Circuit Board Assembly | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 輸入/輸出托盤<br>Input/Output Trays | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 塑料蓋和零件<br>Plastic Covers and Parts | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 控制面板<br>Control Panel | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 傳感器<br>Sensors | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 進料和分離模塊<br>Feed and Separation Modules | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 紙張傳感器<br>Paper Sensors | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 端口<br>Ports | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 打印機附件<br>Printer Accessory | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

備考1.〝超出0.1 wt %〞及〝超出0.01 wt %〞係指限用物質之百分比含量超出百分比含量基準值。
Note 1: “Exceeding 0.1 wt %” and “exceeding 0.01 wt %” indicate that the percentage content of the restricted substance exceeds the reference percentage value of presence condition.
備考2.〝○〞係指該項限用物質之百分比含量未超出百分比含量基準值。
Note 2: “○” indicates that the percentage content of the restricted substance does not exceed the percentage of reference value of presence.
備考3.〝—〞係指該項限用物質為排除項目。
Note 3: The “–” indicates that the restricted substance corresponds to the exemption.

## EMC 声明

**米国**：この装置は、FCC 規則の Part 15 に従った Class B デジタル装置に対する制限に適合していることが検査され、証明されています。これらの制限は、個人の住宅に取り付けた場合に、有害な干渉から適切に保護することをその目的としています。本製品は高周波エネルギーを発生させ、使用し、また放射することもあります。取扱説明書に従って設置および使用されない場合は、無線通信に有害な障害をもたらす可能性があります。ただし、特定の設置条件で、干渉が起こらないという保証はありません。この装置がラジオやテレビの受信を妨害している場合（装置をオン / オフにして確認）は、以下の方法をいくつか試して問題を修正することをお勧めします。

- 受信アンテナの方向や位置を変える
- 装置と受信機との距離を広げる
- 受信機を接続している回路とは別の回路のコンセントに装置を接続する
- 取扱店または信頼できるラジオ / テレビ関係の技術者に問い合わせる

法令遵守に責任のある当事者により明示的に承認されていない変更または修正を行うと、装置を操作する権限が無効になる場合があります。製品に被覆インタフェースケーブルが同梱されている場合、または製品を設置する際に被覆インタフェースケーブルを追加コンポーネント / アクセサリとして使用するように指定されている場合は、FCC 規制に準拠するためにそれらのケーブルを使用する必要があります。

**韓国**：この機器は家庭で使用するための EMC 登録を取得しており、住宅でご利用いただけます。

이 기기는 가정용으로 전자파적합등록을 한 기기로서 주거지역에서는 물론 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

**日本のユーザーへの通知：**この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

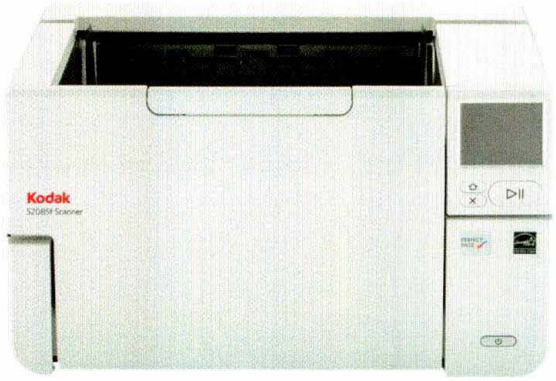
この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI－B

Kodak alaris

# التصريح بالمطابقة

| | |
|---|---|
| مصنع الجهاز | Kodak Alaris Germany GmbH |
| العنوان | Augsburger Strasse 712, 70329 Stuttgart Germany |
| نوع الجهاز | ماسح ضوئي |
| العلامة التجارية | Kodak |
| النموذج | Kodak S2085f 90w Scanner |

الصورة




نحن مصنع الأجهزة المذكور أعلاه نعلن تحت مسؤوليتنا الخاصة أن الجهاز موضوع هذا الإعلان يتطابق مع المتطلبات الأساسية للقرارات:

رقم 2574.14 الصادر في 16 يوليوز 2015 والمتعلق بالتوافق الكهرومغناطيسي للتجهيزات.

رقم 2573.14 الصادر في 16 يوليوز 2015 والمتعلق بالأجهزة الكهربائية المعدة للاستخدام في توترات معينة.

تم اثبات هذا التوافق بحسب المعايير المغربية التالية:

EMC NM EN 55032
NM EN 55035
NM CEI 61000-3-2 ; NM CEI 61000-3-3
LVD NM EN 62368-1

| | | |
|---|---|---|
| Signed by or on behalf of | | التوقيع من طرف وباسم |
| Place, Date of issue | Stuttgart 31.10.2024 | تاريخ ومكان الاصدار |
| Name | Bruno Pfeifer | الاسم |
| Signature |  | التوقيع |

Kodak Alaris Germany GmbH Augsburger strasse 712, 70329 Stuttgart Germany

Kodak alaris

# التصريح بالمطابقة

| | |
|---|---|
| مصنع الجهاز | Kodak Alaris Germany GmbH |
| العنوان | Augsburger Strasse 712, 70329 Stuttgart Germany |
| نوع الجهاز | ماسح ضوئي |
| العلامة التجارية | Kodak |
| النموذج | Kodak S3060 90w Scanner |

الصورة




نحن مصنع الأجهزة المذكور أعلاه نعلن تحت مسؤوليتنا الخاصة أن الجهاز موضوع هذا الإعلان يتطابق مع المتطلبات الأساسية للقرارات:

رقم 2574.14 الصادر في 16 يوليوز 2015 والمتعلق بالتوافق الكهرومغناطيسي للتجهيزات.

رقم 2573.14 الصادر في 16 يوليوز 2015 والمتعلق بالأجهزة الكهربائية المعدة للاستخدام في توترات معينة.

تم اثبات هذا التوافق بحسب المعايير المغربية التالية:

EMC NM EN 55032
NM EN 55035
NM CEI 61000-3-2 ; NM CEI 61000-3-3
LVD NM EN 62368-1

| | | |
|---|---|---|
| Signed by or on behalf of | | التوقيع من طرف وباسم |
| Place, Date of issue | Stuttgart 31.10.2024 | تاريخ ومكان الاصدار |
| Name | Bruno Pfeifer | الاسم |
| Signature |  | التوقيع |

Kodak Alaris Germany GmbH Augsburger strasse 712, 70329 Stuttgart Germany

Kodak alaris

# التصريح بالمطابقة

| | |
|---|---|
| مصنع الجهاز | Kodak Alaris Germany GmbH |
| العنوان | Augsburger Strasse 712, 70329 Stuttgart Germany |
| نوع الجهاز | ماسح ضوئي |
| العلامة التجارية | Kodak |
| النموذج | Kodak S3060f 90w Scanner |

الصورة




نحن مصنع الأجهزة المذكور أعلاه نعلن تحت مسؤوليتنا الخاصة أن الجهاز موضوع هذا الإعلان يتطابق مع المتطلبات الأساسية للقرارات:

رقم 2574.14 الصادر في 16 يوليوز 2015 والمتعلق بالتوافق الكهرومغناطيسي للتجهيزات.

رقم 2573.14 الصادر في 16 يوليوز 2015 والمتعلق بالأجهزة الكهربائية المعدة للاستخدام في توترات معينة.

تم اثبات هذا التوافق بحسب المعايير المغربية التالية:

EMC NM EN 55032
NM EN 55035
NM CEI 61000-3-2 ; NM CEI 61000-3-3
LVD NM EN 62368-1

| | | |
|---|---|---|
| Signed by or on behalf of | | التوقيع من طرف وباسم |
| Place, Date of issue | Stuttgart 31.10.2024 | تاريخ ومكان الاصدار |
| Name | Bruno Pfeifer | الاسم |
| Signature |  | التوقيع |

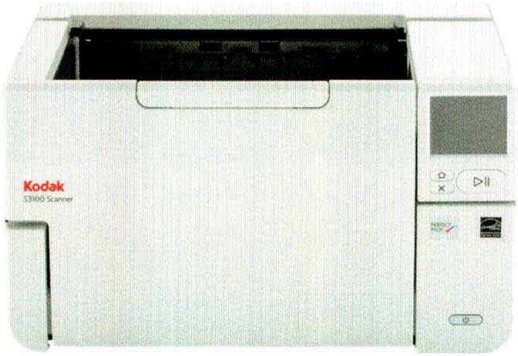
Kodak Alaris Germany GmbH Augsburger strasse 712, 70329 Stuttgart Germany

Kodak alaris

## التصريح بالمطابقة

| | |
|---|---|
| مصنع الجهاز | Kodak Alaris Germany GmbH |
| العنوان | Augsburger Strasse 712, 70329 Stuttgart Germany |
| نوع الجهاز | ماسح ضوئي |
| العلامة التجارية | Kodak |
| النموذج | Kodak S3100 90w Scanner |

الصورة




نحن مصنع الأجهزة المذكور أعلاه نعلن تحت مسؤوليتنا الخاصة أن الجهاز موضوع هذا الإعلان يتطابق مع المتطلبات الأساسية للقرارات:

رقم 2574.14 الصادر في 16 يوليوز 2015 والمتعلق بالتوافق الكهرومغناطيسي للتجهيزات.

رقم 2573.14 الصادر في 16 يوليوز 2015 والمتعلق بالأجهزة الكهربائية المعدة للاستخدام في توترات معينة.

تم اثبات هذا التوافق بحسب المعايير المغربية التالية:

EMC NM EN 55032
NM EN 55035
NM CEI 61000-3-2 ; NM CEI 61000-3-3
LVD NM EN 62368-1

| | | |
|---|---|---|
| Signed by or on behalf of | | التوقيع من طرف وباسم |
| Place, Date of issue | Stuttgart 31.10.2024 | تاريخ ومكان الاصدار |
| Name | Bruno Pfeifer | الاسم |
| Signature |  | التوقيع |

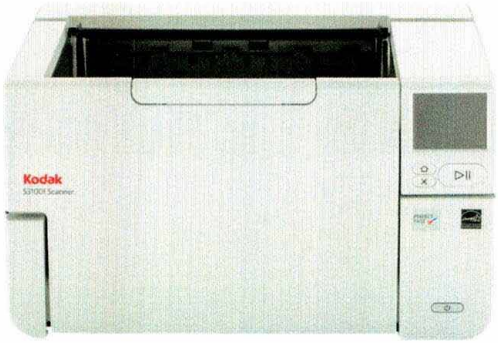
Kodak Alaris Germany GmbH Augsburger strasse 712, 70329 Stuttgart Germany

Kodak alaris

# التصريح بالمطابقة

| | |
|---|---|
| مصنع الجهاز | Kodak Alaris Germany GmbH |
| العنوان | Augsburger Strasse 712, 70329 Stuttgart Germany |
| نوع الجهاز | ماسح ضوئي |
| العلامة التجارية | Kodak |
| النموذج | Kodak S3100f 90w Scanner |

الصورة




نحن مصنع الأجهزة المذكور أعلاه نعلن تحت مسؤوليتنا الخاصة أن الجهاز موضوع هذا الإعلان يتطابق مع المتطلبات الأساسية للقرارات:

رقم 2574.14 الصادر في 16 يوليوز 2015 والمتعلق بالتوافق الكهرومغناطيسي للتجهيزات.

رقم 2573.14 الصادر في 16 يوليوز 2015 والمتعلق بالأجهزة الكهربائية المعدة للاستخدام في توترات معينة.

تم اثبات هذا التوافق بحسب المعايير المغربية التالية:

EMC NM EN 55032
NM EN 55035
NM CEI 61000-3-2 ; NM CEI 61000-3-3
LVD NM EN 62368-1

| | | |
|---|---|---|
| Signed by or on behalf of | | التوقيع من طرف وباسم |
| Place, Date of issue | Stuttgart 31.10.2024 | تاريخ ومكان الاصدار |
| Name | Bruno Pfeifer | الاسم |
| Signature |  | التوقيع |

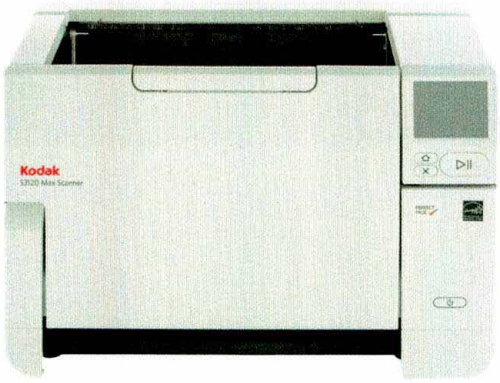
Kodak Alaris Germany GmbH Augsburger strasse 712, 70329 Stuttgart Germany

Kodak alaris

## التصريح بالمطابقة

| | |
|---|---|
| مصنع الجهاز | Kodak Alaris Germany GmbH |
| العنوان | Augsburger Strasse 712, 70329 Stuttgart Germany |
| نوع الجهاز | ماسح ضوئي |
| العلامة التجارية | Kodak |
| النموذج | Kodak S3120 Max 90w Scanner |

الصورة




نحن مصنع الأجهزة المذكور أعلاه نعلن تحت مسؤوليتنا الخاصة أن الجهاز موضوع هذا الإعلان يتطابق مع المتطلبات الأساسية للقرارات:

رقم 2574.14 الصادر في 16 يوليوز 2015 والمتعلق بالتوافق الكهرومغناطيسي للتجهيزات.

رقم 2573.14 الصادر في 16 يوليوز 2015 والمتعلق بالأجهزة الكهربائية المعدة للاستخدام في توترات معينة.

تم اثبات هذا التوافق بحسب المعايير المغربية التالية:

EMC NM EN 55032
NM EN 55035
NM CEI 61000-3-2 ; NM CEI 61000-3-3
LVD NM EN 62368-1

| | | |
|---|---|---|
| Signed by or on behalf of | | التوقيع من طرف وباسم |
| Place, Date of issue | Stuttgart 31.10.2024 | تاريخ ومكان الاصدار |
| Name | Bruno Pfeifer | الاسم |
| Signature |  | التوقيع |

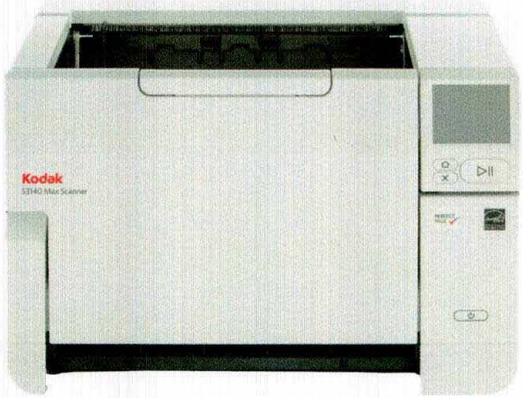
Kodak Alaris Germany GmbH Augsburger strasse 712, 70329 Stuttgart Germany

Kodak alaris

## التصريح بالمطابقة

| | |
|---|---|
| مصنع الجهاز | Kodak Alaris Germany GmbH |
| العنوان | Augsburger Strasse 712, 70329 Stuttgart Germany |
| نوع الجهاز | ماسح ضوئي |
| العلامة التجارية | Kodak |
| النموذج | Kodak S3140 Max 90w Scanner |

الصورة




نحن مصنع الأجهزة المذكور أعلاه نعلن تحت مسؤوليتنا الخاصة أن الجهاز موضوع هذا الإعلان يتطابق مع المتطلبات الأساسية للقرارات:

رقم 2574.14 الصادر في 16 يوليوز 2015 والمتعلق بالتوافق الكهرومغناطيسي للتجهيزات.

رقم 2573.14 الصادر في 16 يوليوز 2015 والمتعلق بالأجهزة الكهربائية المعدة للاستخدام في توترات معينة.

تم اثبات هذا التوافق بحسب المعايير المغربية التالية:

EMC NM EN 55032
NM EN 55035
NM CEI 61000-3-2 ; NM CEI 61000-3-3
LVD NM EN 62368-1

| | | |
|---|---|---|
| Signed by or on behalf of | | التوقيع من طرف وباسم |
| Place, Date of issue | Stuttgart 31.10.2024 | تاريخ ومكان الاصدار |
| Name | Bruno Pfeifer | الاسم |
| Signature |  | التوقيع |

Kodak Alaris Germany GmbH Augsburger strasse 712, 70329 Stuttgart Germany

# 付録 B 保証 - 米国、カナダ限定

*KODAK* スキャナーをご購入いただきありがとうございます。*KODAK* スキャナーは、お客様に最高レベルのパフォーマンスと信頼性をお届けします。すべての *KODAK* スキャナーは次の限定保証の対象となります。

### *KODAK* スキャナーの限定保証

Kodak Alaris 社は、Kodak Alaris または Kodak Alaris 認定小売チャネルを通じて販売された、*KODAK* スキャナー（部品および消耗品を除く）に次の限定保証を適用します。

Kodak Alaris 社は、販売時から製品に適用される限定保証期間内において、*KODAK* スキャナーの材料および製造上の欠陥がなく、特定の *KODAK* スキャナーに該当するパフォーマンス仕様に準拠することを保証します。

すべての *KODAK* スキャナーには以下の保証除外規定が適用されます。欠陥がある、または製品仕様に準拠していない *KODAK* スキャナーは、Kodak Alaris の判断により、修理、新製品または代替製品と交換いたします。

購入者は、AlarisWorld.com/go/IMsupport にアクセスして、購入した *KODAK* スキャナーに適用される限定保証期間を決定できます。

保証によるサービスを受けるには、購入を証明する書類が必要となります。

### 保証の除外

Kodak Alaris の限定保証は、災害、事故、不可抗力、輸送などの原因によって、購入後に *KODAK* スキャナーがこうむった物理的損害には適用されません。これには、次の場合が含まれます。(a) 保証サービスのために Kodak Alaris にスキャナーを送り返す際に、その時点で有効な Kodak Alaris の梱包材と輸送のガイドラインに従ってスキャナーを適切に梱包および輸送しなかったために損害が生じた（発送前に梱包材を交換しなかった、または使用前に梱包材を取り外さなかった場合を含む）。(b) ユーザーのオペレーティングシステムまたはアプリケーションソフトウェアのインストール、システム統合、プログラミング、または再インストール、システムエンジニアリング、移動、データの再構築、製品またはコンポーネントの取り外し（コネクタ、カバー、ガラス、ピン、トレイ、シールの破損を含む）によって損害が生じた。(c) Kodak Alaris、または Kodak Alaris の正規修理店以外によって保守、変更、または修理が行われた、または、製品の改造、Kodak Alaris 製品の模造コンポーネントや Kodak Alaris 社製以外のコンポーネント、アセンブリ、アクセサリ、モジュールの使用によって損害が生じた。(d) 誤用、妥当な範囲外の製品の扱いやメンテナンス、手荒な扱い、使用者の誤動作、適切な監督やメンテナンスを行わなかった（Kodak Alaris の承認しないクリーニング用品やその他のアクセサリの使用や、推奨されている手順や仕様に従わない使用を含む）ことによって損害が生じた。(e) 環境的な条件（過度な高温や、その他の不適切な物理的稼働環境）、腐食、しみ、製品外での電気配線、静電気放電（ESD）保護を行わなかったことによって損害が生じた。(f) 製品に対して提供されているファームウェアのアップデートやリリースをインストールしなかったために損害が生じた。(g) その他の随時追加される除外項目（オンライン AlarisWorld.com/go/IMsupport で確認可能）。

Kodak Alaris では、米国およびカナダ以外の国で購入された製品に対しては、限定保証を提供していません。米国外の流通経路から製品を購入した場合は、購入元によって保証が行われます（該当する場合）。

Kodak Alaris では、サードパーティの製品、コンピュータシステム、またはその他の電子機器の一部として購入された製品に対しては、限定保証を行いません。

これらの製品に対する保証は、OEM（Original Equipment Manufacturer）により、このメーカーの製品やシステムの一部として提供されます。

製品を交換した場合の限定保証の期間は、欠陥のあった元の製品に適用される期間か、30 日のうち、長い方となります。

### 設置に関する警告と断り書き

Kodak Alaris では、原因のいかんを問わず、この製品の販売、設置、使用、修理、または機能障害に起因する結果的または偶発的な損害について、いかなる責任も負いません。これらの Kodak Alaris が保証責任をもたない損害には、収入や利益の損失、データの損失、ダウンタイムの費用、製品の使用の損失、当製品を置換する製品のコスト、設備やサービス、および顧客によるこれらの損害に対する要求を含み、またこれに限られたものではありません。

この付録の条項と、限定保証の条項間に矛盾がある場合は、限定責任の条項が優先されます。

### 限定保証によるサービスを受けるには

*KODAK* スキャナーには、開梱、セットアップ、設置、操作に関する情報が付属しています。ユーザーズガイドを注意して読むことで、製品の適切な設置、使用、メンテナンスに関し、ほとんどの技術的情報が得られます。ただし、ユーザーズガイドを参照してもまだ疑問がおありの場合は、当社の Web サイト（AlarisWorld.com/go/IMsupport ）にアクセスするか以下にお問い合わせください。Kodak Alaris サポートセンター：**(800) 822-1414**

サポートセンターは、休日を除く月曜日から金曜日の午前 8 時から午後 5 時まで営業しています。

お問い合わせになる前に、該当する購入者は *KODAK* スキャナーのモデル番号、パーツ番号、シリアル番号、購入を証明できるものをご用意ください。また、問題について説明できるように、情報を整理しておいてください。

サポートセンターの担当者は、ユーザーが問題を解決できるように、電話でサポートします。場合によっては、いくつかの簡単な自己診断テストを実行して、結果のステータスやエラーコードのメッセージを伝えるように求められることがあります。これは、問題が *KODAK* スキャナーにあるかまたは別のコンポーネントにあるのか、問題を電話で解決できるかについて、サポートセンターでの判断に役立てるためです。サポートセンターが、ハードウェア障害が限定保証や購入されたサービス保守契約の範囲であると判断する場合は、必要に応じて RMA 番号（返品認証番号）が発行されます。その後、サービスのリクエストが発行され、修理または交換が行われます。

### 梱包と輸送のガイドライン

購入者は、保証が適用される製品を返送する場合、製品が輸送中に損傷しないように、十分な梱包を行ってください。梱包が十分でなかった場合、*KODAK* スキャナーの保証が無効になります。製品の保管や輸送のために、元の箱や梱包を保管しておくことをお勧めします。Kodak Alaris では、輸送中の損傷に関連する問題については責任を負いません。購入者は *KODAK* スキャナーのみを返品してください。発送の前に、すべての追加の品目（アダプタ、ケーブル、ソフトウェア、マニュアルなど）を取り外して、保管しておいてください。Kodak Alaris はこれらの品目について責任を負わず、修理または交換した *KODAK* スキャナーと一緒に返送はいたしません。すべての製品は、元の梱包、または返品するユニットに対して承認された梱包を使用して、Kodak Alaris に返送してください。購入者は *KODAK* スキャナーを発送する前に、梱包材を取り付けてください。元の梱包がない場合は、Kodak Alaris のサポートセンター（電話：800-822-1414）に、新しい梱包用品のパーツ番号と注文方法を問い合わせてください。

### 返送の手順

本限定保証の対象となる *KODAK* スキャナーのサービスを受けられる購入者は、(800) 822-1414 に連絡して返品認証番号（RMA）を取得し、RMA の発行から 10 営業日以内に Kodak Alaris の現行の梱包と輸送のガイドラインに従い、*KODAK* スキャナーをエンドユーザー自身の送料および保険料負担で RMA が指定する宛先まで発送するものとします。

Kodak Alaris が交換した製品や部品は、Kodak Alaris の所有となります。

### 顧客の責任

サービスの要求を行うことによって、限定保証の対象となる購入者は、限定保証の条件（断り書きと限定保証の条項を含む）に合意したものとみなされます。サービスを受けるまえに、ユーザーは損傷を受ける、または損失される恐れのあるデータやファイルをすべてバックアップしてください。Kodak Alaris では、失われた、または損傷を受けたデータやファイルに対し、何ら責任を負いません。

### 保証サービスの説明

Kodak Alaris は限定保証をサポートし、*KODAK* スキャナーの使用および取り扱い（サービス方法）を支援する様々なサービスプログラムを提供しています。*KODAK* スキャナーは重要な投資です。*KODAK* スキャナーは、競争力を維持するために必要な生産性を発揮します。たとえ一時的であっても、この生産性を失うと、ビジネスに支障が生じる場合があります。ダウンタイムは修理費だけでなく、時間を失ったという意味でも、非常に高額なものになりえます。これらの問題を避けるために、Kodak Alaris では限定保証の遂行にあたり、製品タイプによって以下にあげるサービス方法のいずれかを使用します。

保証、サービスプログラム情報、制限などの製品に関する情報は、オンラインで以下より入手できます：

AlarisWorld.com/go/IMsupport

サービスの遅延を回避するために、Kodak Alaris はエンドユーザーに対し、AlarisWorld.com/go/IMsupport でオンラインの限定保証登録プロセスを完了することを推奨します。

登録プロセスを完了するには、製品モデルと製品シリアル番号が必要です。

Kodak Alaris は、*KODAK* スキャナーの使用と取り扱いを支援するために購入できるサービスプログラムも提供しています。

Kodak Alaris では、限定保証によってお客様に、品質、パフォーマンス、信頼性、そしてサービスをお届けするべく努力しています。

当社は、製造終了後、最低 5 年間はスペア部品と消耗品を供給いたします。

### AUR（アドバンスユニット交換）

AUR は、業界で提供されているサービスの中で、もっとも簡単で、包括的なものといえるでしょう。万が一製品に欠陥があった場合、特定の *KODAK* スキャナーの該当する購入者に対し、Kodak Alaris は 2 営業日以内に製品を交換します。

AUR では特定の障害または破損のある *KODAK* スキャナーについて、事前に交換を行います。製品が製造元の仕様に適合して動作していないと Kodak Alaris が判断した場合、Kodak Alaris は宅配サービスの利用可能性次第では翌日に AUR を提供します。交換製品は最新の製品の最小仕様で動作しますが、全く同じメーカーおよび型式でない場合があります。交換製品は再生機器である場合があります。AUR サポートが必要な場合、Kodak Alaris は交換製品をお客様の所在地へ輸送費前払いにて発送します。交換製品の配達時に、お客様は限定保証で保証されないすべてのオプションおよびアクセサリ（電源コード、ドキュメンテーション等を含む）を取り外して、故障した機器全体を輸送箱に入れ、同梱のラベルを貼り、AUR を受け取ってから 5 営業日以内に運送業者に集荷を依頼する必要があります。Kodak Alaris は、返却輸送料を支払います。返却していただいた機器の部品が紛失している場合、お客様は実勢価格で部品の料金を請求される場合があります。 お客様が不具合のある機器を 10 営業日以内に返却されなかった場合、お客様は機器の定価で請求され、その料金について責任を負うことになります。

### デポサービス

*KODAK* スキャナーが AUR またはオンサイトサービスの対象外の場合、該当する購入者はデポ修理サービスを利用できます。対象となる購入者は、最寄の正規デポ修理センターに製品を送るように指示されます。修理センターまでの輸送の費用は購入者が負担し、輸送中の破損などについては購入者が責任を持つものとします。製品を修理センターに返送する前に、限定保証で対象外のすべてのオプションやアクセサリ（電源コードやマニュアルを含む）を取り外してください。すべての製品は、元の梱包、または推奨されている梱包箱を使用して、Kodak Alaris に返送してください。*KODAK* スキャナーには、発送前に梱包材を取り付けてください。元の梱包がない場合は、Kodak Alaris のサポートセンター（電話：800-822-1414）に、新しい梱包資材の注文方法を問い合わせてください。*KODAK* スキャナーのサービスを受けられる購入者は、(800) 822-1414 に連絡して返品認証番号（「RMA」）を取得し、RMA の発行から 10 営業日以内に Kodak の現行の梱包と輸送のガイドラインに従い、*KODAK* スキャナーをエンドユーザー自身の送料および保険料負担で RMA が指定する宛先まで発送するものとします。故障した製品が適切に受理されるように、RMA（Return Material Authorization）番号を箱の外側にはっきりと書いてください。

製品の受理後、修理センターは製品を 10 営業日以内に修理します。修理された製品は、2 日以内に配送されるエクスプレス便で購入者に返送されます。購入者はこの送料を負担する必要はありません。

### 重要な制限

**資格**：アドバンス交換プログラムおよびデポ修理サービスは、Kodak Alaris 認定小売店から購入された製品について、米国の 50 州にお住まいの該当する購入者にご利用いただけます。*KODAK* スキャナーは、購入者が Kodak Alaris のその時点で有効な梱包および発送のガイドラインに従って欠陥のある製品を返送しなかった場合など、製品が Kodak Alaris のその時点で有効な保証除外規定を満たさない場合、保証内のいかなるサービスも受けられません。購入者は、*KODAK* スキャナーを個人またはビジネス目的で購入し、再販目的ではない場合に「該当する購入者」または「エンドユーザー」とみなされます。

**消耗品**：消耗品は、通常の使用において消費され、必要に応じてエンドユーザーによって交換される品目です。消耗品や備品、および、ユーザーズガイドでユーザーの責任であると述べられているアイテムは、限定保証の対象とはなりません。

Kodak Alaris が交換した製品や部品は、Kodak Alaris の所有となります。

## Kodak Alaris へのお問い合わせ

*KODAK* スキャナーに関する情報：

Web サイト：AlarisWorld.com/go/IM

米国の技術サポートの電話連絡先：

電話によるテクニカルサポートは、休日を除く月曜日から金曜日まで、午前 5 時から午後 5 時まで営業しています。電話：(800) 822-1414

24 時間ご利用可能な技術文書と FAQ：

Web サイト：AlarisWorld.com/go/IM

サービスプログラムに関する情報

Web サイト：AlarisWorld.com
電話：(800) 822-1414

Kodak alaris

使用されているすべての商標および商品名は、各権利保持者の所有物です。

コダックの商標およびトレードドレスはイーストマンコダック社の許可のもとに使用しています。

© 2024 Kodak Alaris Inc.
TM/MC/MR: Alaris
05/24